農業用水管理情報　標準定義書(案)

(ＸＭＬスキーマ)

(Rev.1.0)

目　　次

第１章　総則 ····· 1

第２章　定義 ····· 2

第３章　データ構造 ····· 4

第４章　タグ一覧 ····· 18

第５章　ファイル管理 ····· 54

第６章　XML Schema ····· 57

第７章　XML Instance 例 ····· 88

第１章　総 則

1.1 概 要

かんがい排水事業地区に構築・継承されてきた膨大な農業水利施設は、農業の持続的な発展の基盤として大きな役割を果たすと共に、国土保全等の公益的機能を有している。これら農業水利施設は、近年の農業を取り巻く情勢の変化に対応し、かつ経済性を考慮する必要がある。

このため、水利用の変化に柔軟に対応できる水管理制御システムを構築すると共に、水管理制御システムにおける農業関係者等への情報提供等や、土地改良区等が利用している他のシステムとの連携を図ることが出来るよう、農業用水管理情報の情報提供に向けたデータ保存について定義するものである。

1.2 一般事項

本書は、水管理制御システムが保有する情報*を様々な形態において効率的に活用できることを目的としている。

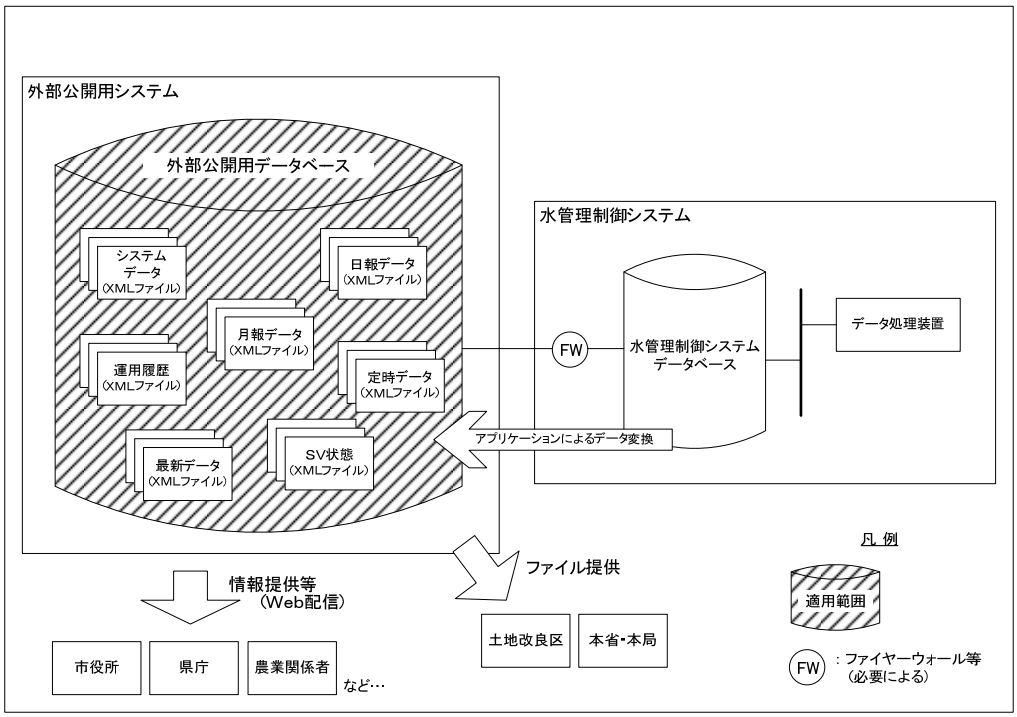
そのため、水管理制御システムが保有している情報は、利用者がそれぞれの目的に応じて活用できることを考慮して、提供方法・共有する情報の名称・用法の統一を行うものである。

＊：ゲート・ポンプ・付帯設備等の運転に係る操作情報や監視情報、水の循環や収支を観測した水文情報、現況の管理情報及び過去の履歴情報等を指す。

1.3 適用範囲

本書は、水管理制御システムにおける情報の情報提供として、ＸＭＬデータのデータ構造について共通指針を定義したものである。

農業用水管理情報の情報提供について、データの流れを以下に示す。



第２章　定 義

2.1 一般事項

(1) データ保存形式の管理施設範囲

保存データは、ＸＭＬ(Extensible Markup Language)形式で保存したファイルとすること。ＸＭＬのヴァージョンは１．０とすること。

(2) エンコード

エンコード形式は「 UTF-8 」とすること。

2.2 ファイル単位

(1) 管理施設範囲

１ファイルは、管理組織(土地改良区・土地改良区連合等)を単位として構成する。

(2) データ種別

ファイルの種類は、下記の７種類のデータ種別に分類される。ファイルのデータ構造はデータ種別毎に規定される。

a. システム情報データ
b. 最新データ
c. 定時データ
d. 日報(帳票)データ
e. 月報(帳票)データ
f. 運用履歴データ
g. ＳＶデータ

2.3 名前空間プレフィックス／名前空間ＵＲＩ

標準で指定されるタグに関しては下記の名前空間プレフィックス(ＵＲＩ)を接頭辞とすること。各システム個別で定義するタグに関しては、異なる名前空間プレフィックス(ＵＲＩ)を接頭辞とすること。

名前空間プレフィックス：maff
名前空間ＵＲＩ： http://www.maff.go.jp/High-lebel_AgricultureInformation_DeliveringSystem

(定義方法)
xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-lebel_AgricultureInformation_DeliveringSystem"

2.4 データ再更新処理

定時データや日報データのように、同一観測時刻におけるデータの収集タイミングが異なる場合や、監視制御システムの機能でデータ修正機能があった場合には、同一ＸＭＬデータで同一観測時刻のデータが上書きで更新されることがある。この場合、該当するＸＭＬデータのみを上書きで更新すると、上位局等のデータ収集タイミング(情報提供時)によっては、保存されているデータが異なるため、同一観測時刻のデータが上書きで更新する場合は、該当するＸＭＬデータの変更に合わせて、〈RprtUpdtDtTm〉および〈RprtRev〉を必ず更新することとする。

2.5 独自項目(タグ)の追加

外部公開用データベースに保存されるＸＭＬデータは、本標準定義書に従ったツリー構造および項目(タグ)に従って作成するものとし、変更・追加・削除は不可とする。

しかし、運用する上で保存(外部公開)しなければないらないデータがあり、かつそのデータを本標準定義書に記載しているＸＭＬデータに追加しなければならない場合に限り、項目追加のみ行えるものとする。

項目追加を行う場合は、ツリーの最後に〈maff:ExtndCntnts〉タグを追加し、下記の事項を遵守し、必要な情報をタグ内に記述すること。

・名前空間プレフィックスおよび名前空間ＵＲＩを追加項目用に追加すること。
・追加する項目(タグ)には、上記で追加した名前空間プレフィックスを付加すること。
・追加する項目(タグ)は、第３章のデータツリー構造に示されているＸＭＬツリー(標準定義ツリー)の最後にある〈maff:ExtndCntnts〉から〈/maff:ExtndCntnts〉までの間に追加するものとし、標準定義ツリーの途中に挿入しないこととする。

第３章　データ構造

3.1 システム情報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、管理組織や施設に関する情報等の各ＸＭＬデータの共通事項を記載すること、および各ＸＭＬデータの更新タイミングを記述することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.1.1　システム情報ツリー図」に示す。
ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.1 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.1 に示す。

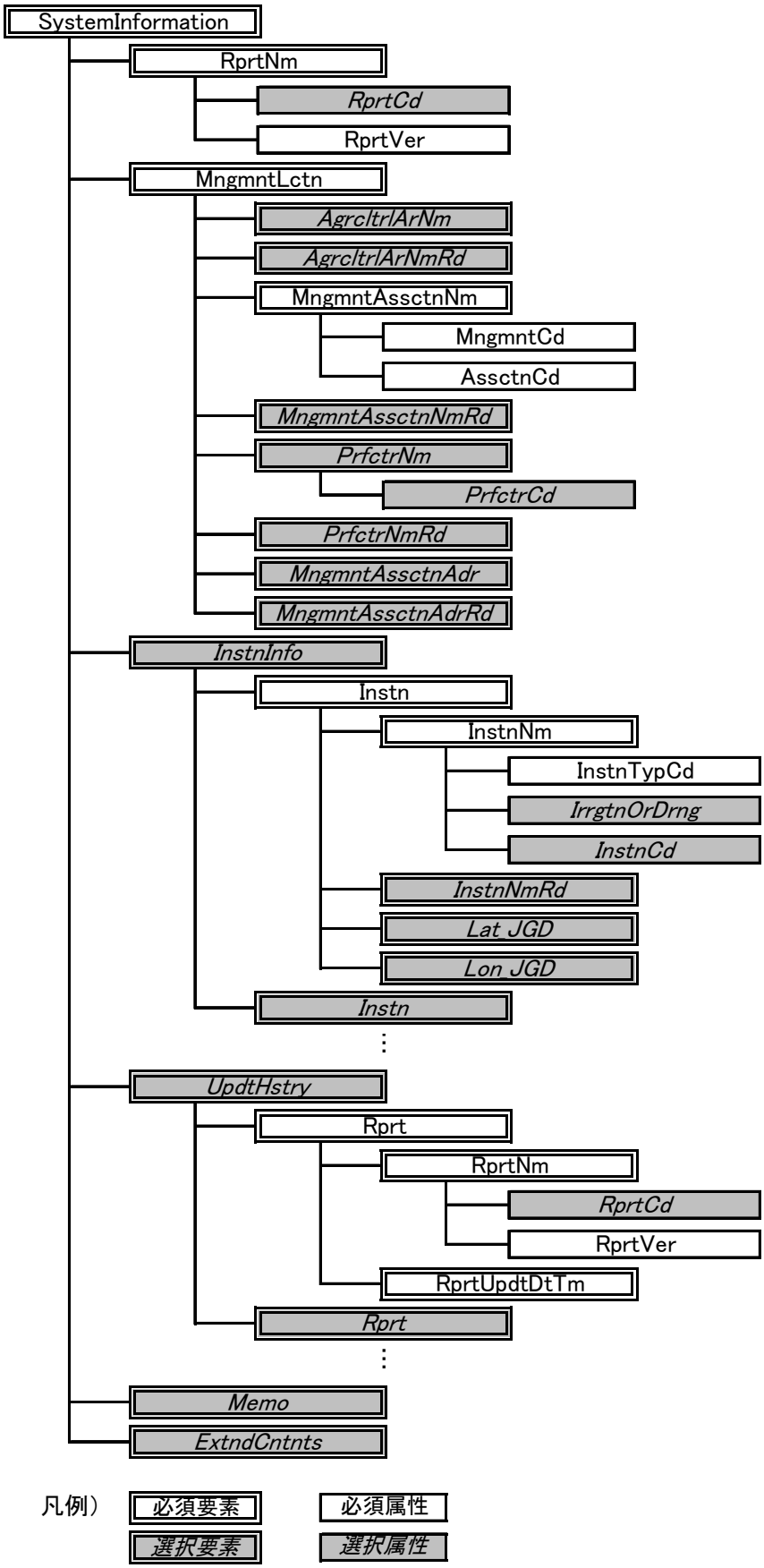


図 3.1.1　システム情報ツリー図

3.2 最新データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、最新の数値情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

１分定周期または１０分定周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.2.1　最新データツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.2 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.2 に示す。

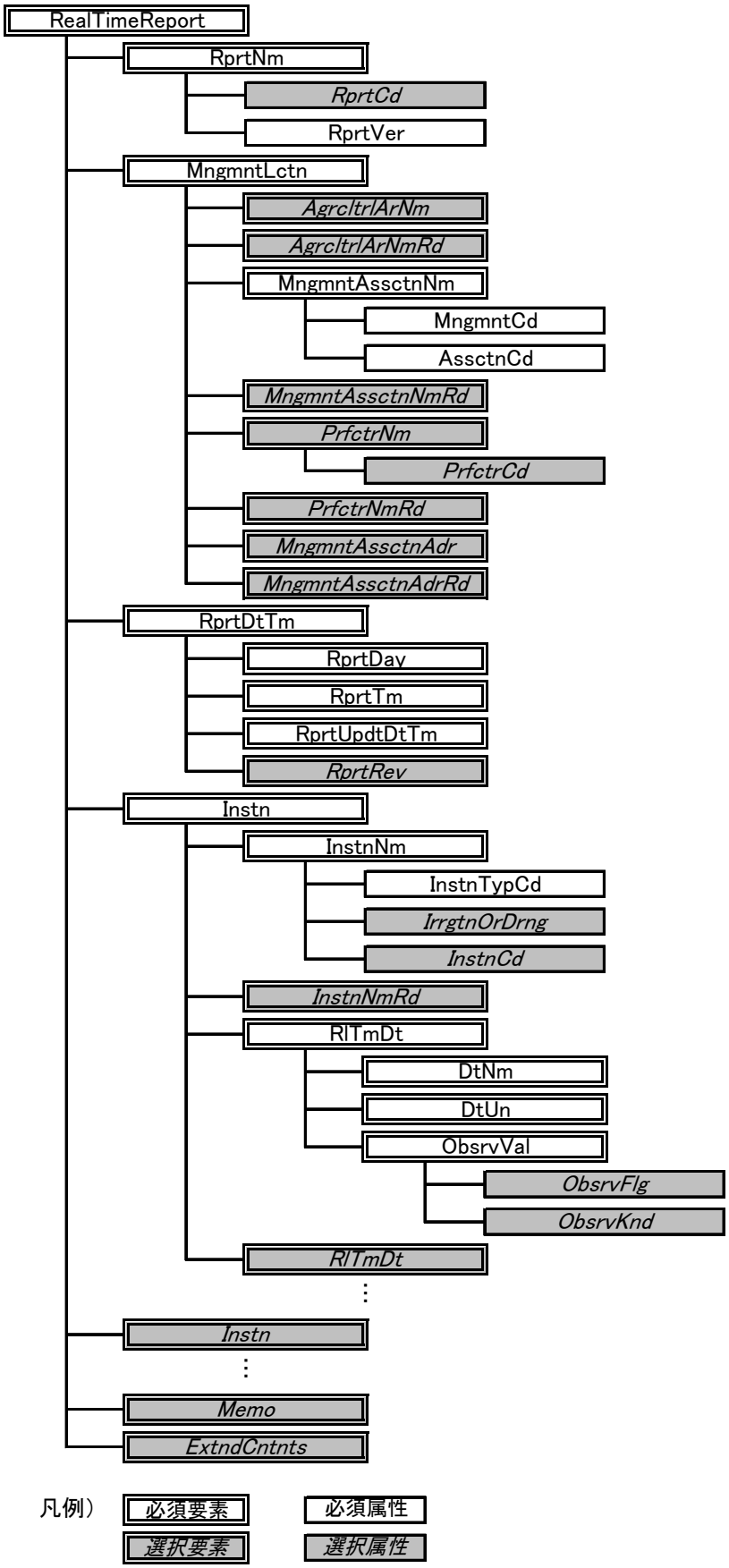


図 3.2.1　最新データツリー図

3.3 定時データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、テレメータデータ等の定時観測情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.3.1　定時データツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.3 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.3 に示す。

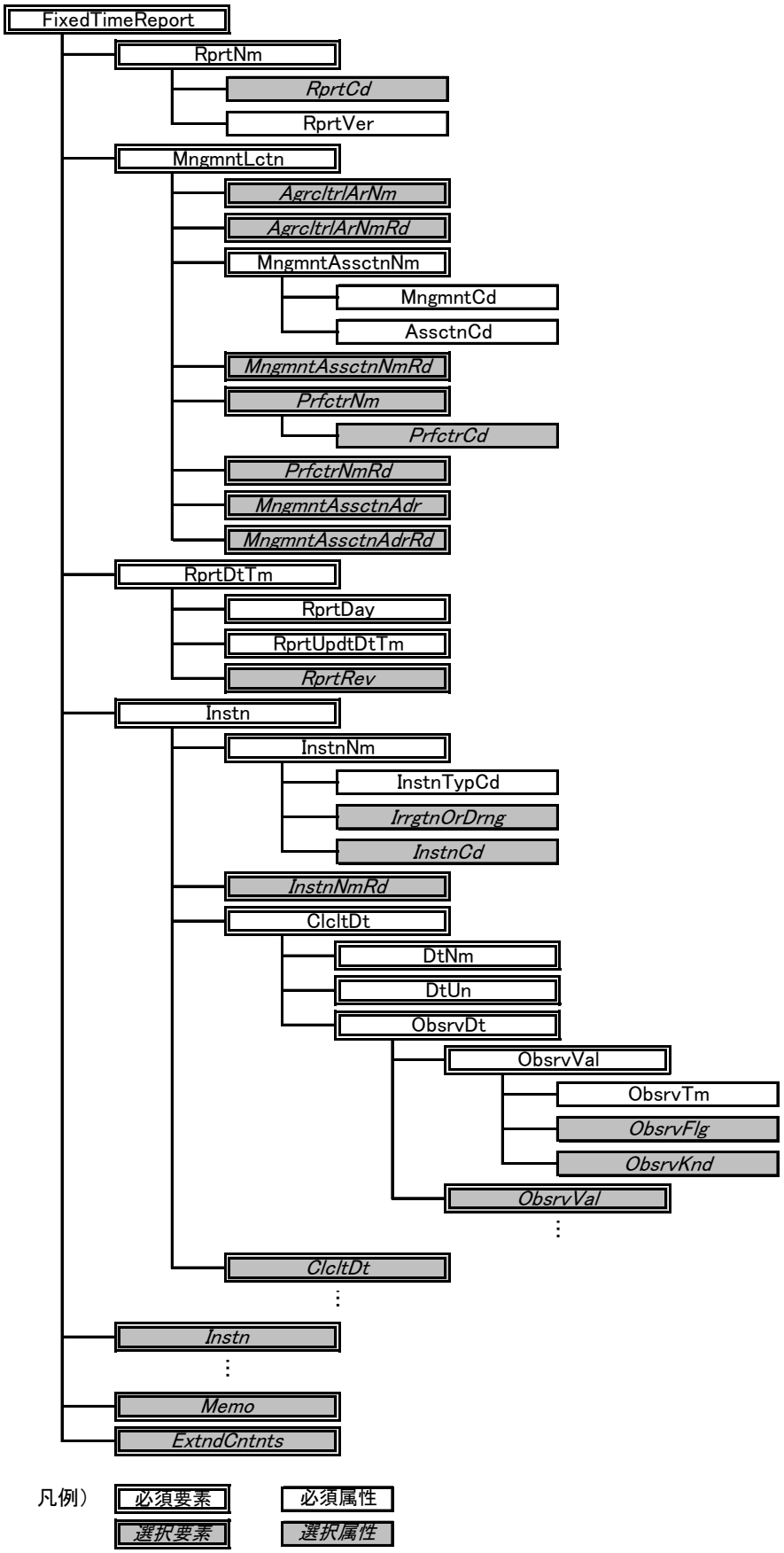


図 3.3.1　定時データツリー図

3.4 日報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、ダム管理日報やゲート操作記録等の日報データを配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.4.1　日報データツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.4 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.4 に示す。

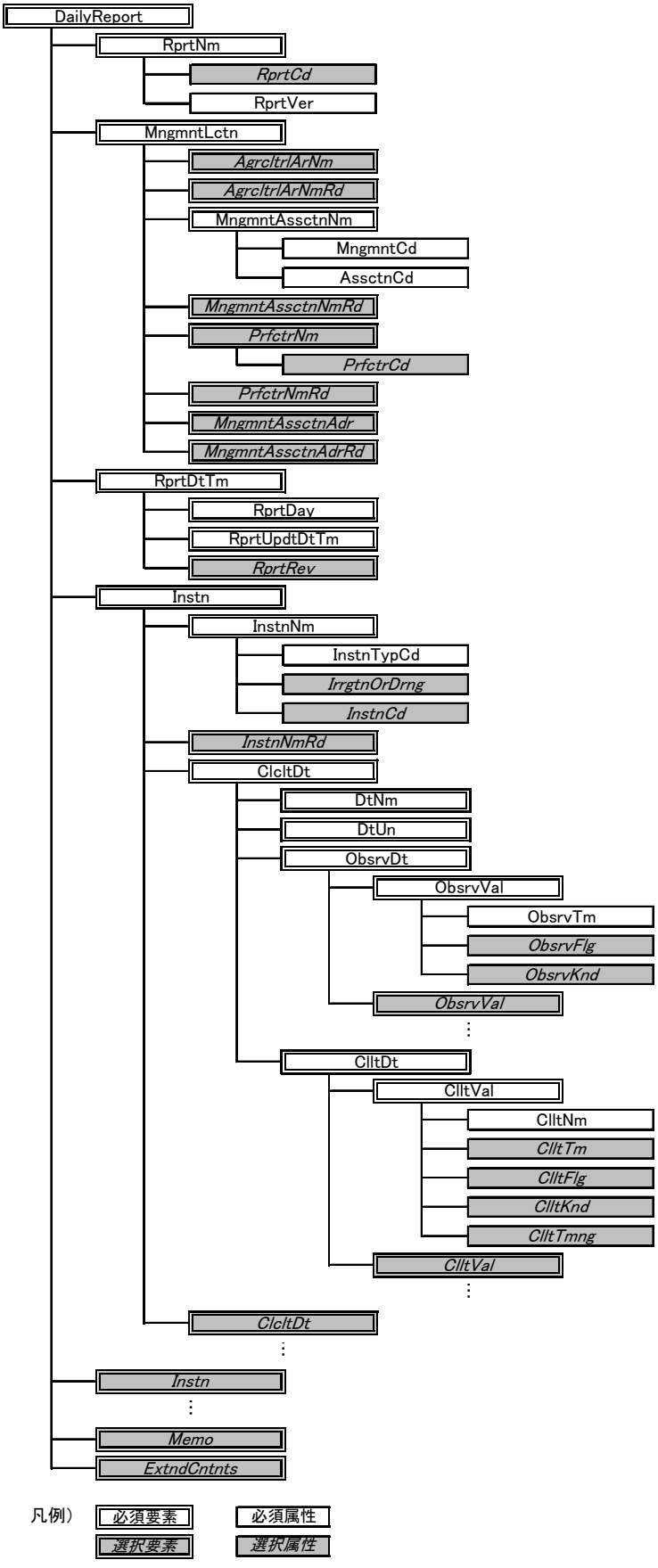


図 3.4.1　日報データツリー図

3.5 月報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、ダム管理月報等の月報データを配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.5.1　月報データツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.5 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.5 に示す。

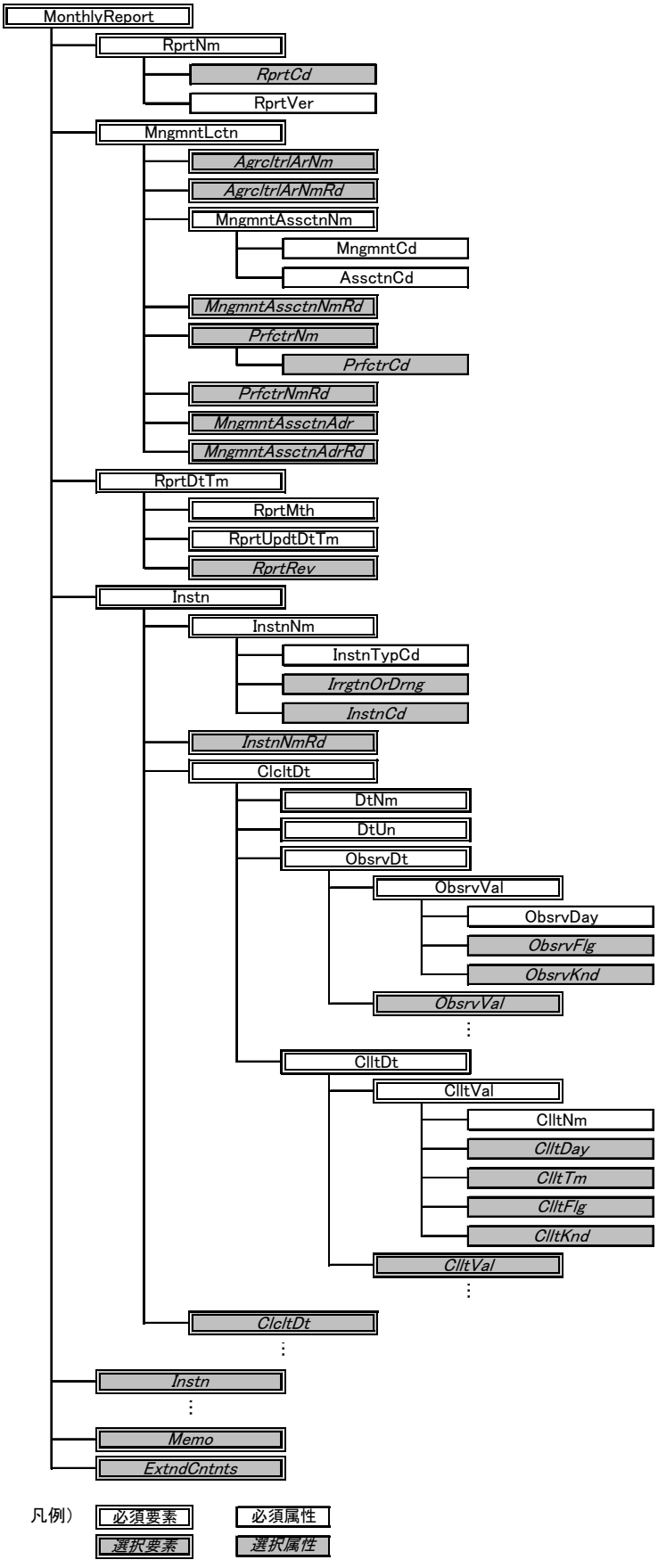


図 3.5.1　月報データツリー図

3.6 運行履歴データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、異常・故障情報や状態情報の運行履歴を配信することを目的とする。

ＸＭＬデータは１日または１ヶ月単位で作成するものとするが、１ファイル当たりの最大項目数(1,000 項目)を超えた場合には、ファイルを分割して作成する。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.6.1　運行記録データツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第６章 6.6 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第７章 7.6 に示す。

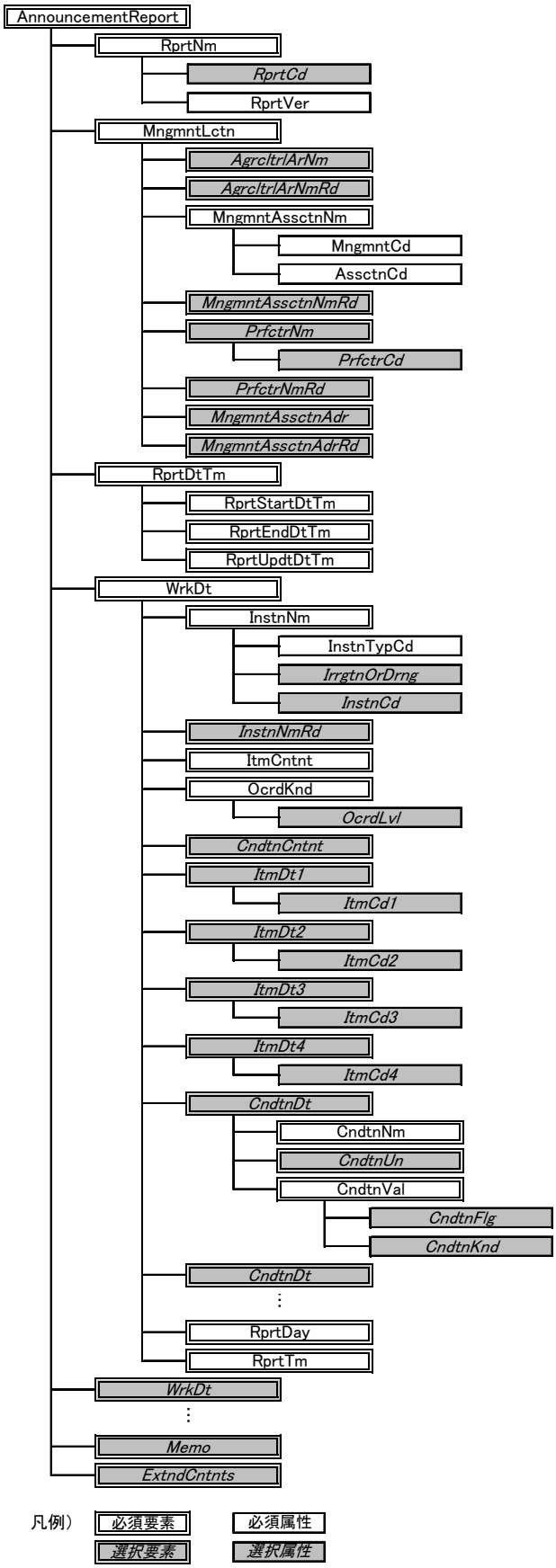


図 3.6.1　運行記録データツリー図

3.7 ＳＶデータ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、現在発生している異常・故障情報や状態情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

(3) タグ構成

本ＸＭＬデータにおけるタグ構成を「図 3.7.1　ＳＶデータツリー図」に示す。

ツリー図において、名前空間プレフィックスは省略して記述してあるので注意すること。

(4) XML Schema

本ＸＭＬデータにおける XML Schema を第 6 章 6.7 に示す。

(5) XML Instance 例

本ＸＭＬデータにおける XML Instance 例を第 7 章 7.7 に示す。

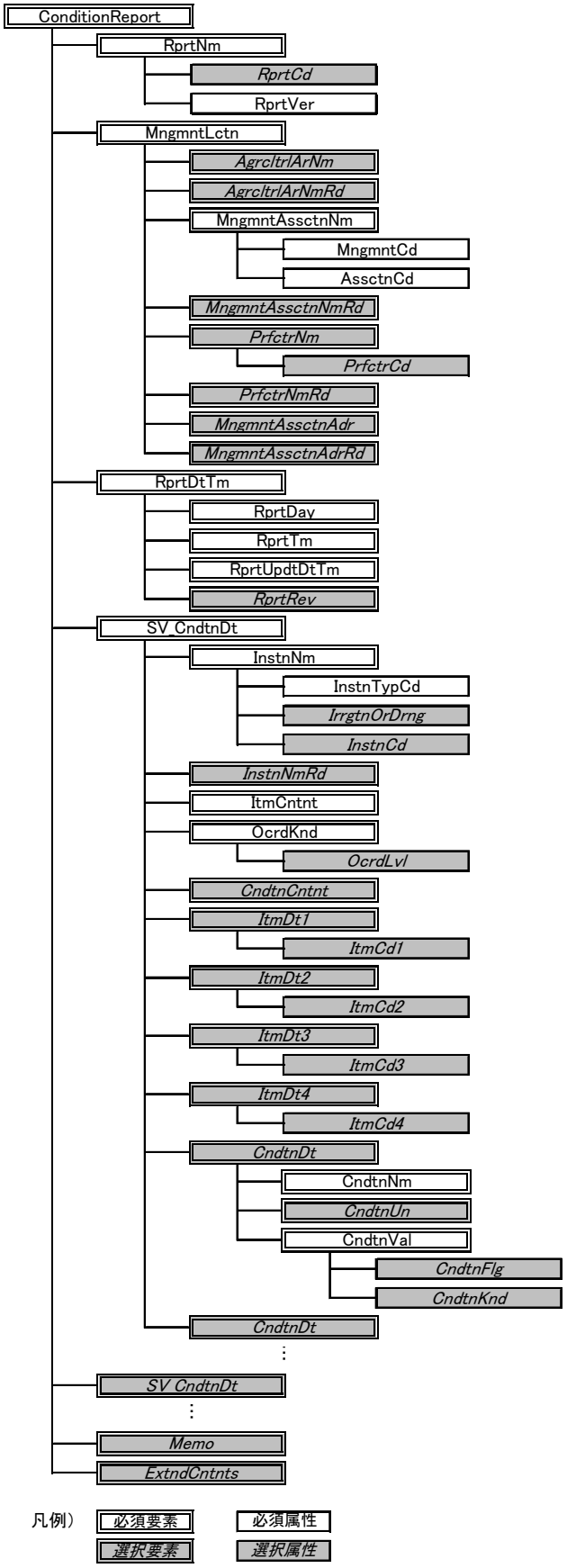


図 3.7.1　ＳＶデータツリー図

第４章　タグ一覧

ＸＭＬにおけるタグ(要素、属性)及びタグの詳細仕様を、「表 4.1　タグ一覧表」及び「表 4.2　ＸＭＬタグ詳細仕様」にそれぞれ示す。

表 4.1　タグ一覧表　（1／4）

要素・属性名	英語名	日本語名	備考	システム	最新	定時	日報	月報	運行履歴	SV	区分	概要	詳細仕様	データ型・制限等	値の例
RprtNm	ReportName	報告書名		○	○	○	○	○	○	○	要素	報告書名を記述する。	作成する報告書に合った報告書名を記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) システム情報データ (2) 最新データ (3) 定時データ (4) 日報データ (5) 月報データ (6) 運行履歴データ (7) SVデータ
RprtCd	ReportCode	報告書コード	Ver1.00では使用不可	×	×	×	×	×	×	×	属性	報告書コード（将来用）を記述する。	報告書コード（将来用）を記述する。	RprtNmの属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。	01001（など、将来検討）
RprtVer	ReportVersion	報告書コード ヴァージョン		○	○	○	○	○	○	○	属性	本報告書のXMLツリー構造のヴァージョンを記述する。	当該報告書の標準XMLツリー構造が改訂されたときにヴァージョンが上がるものとする。 本仕様書では初版になるので、「1.00」と入力すること。	RprtNmの属性とする。 固定小数点型とする。 小数点以下は2桁まで記述できる。	1.00
MngmntLctn	ManagementLocation	管理場所		○	○	○	○	○	○	○	要素	管理組織、地区等の場所や住所を記述する。	地区名(AgrcltrlArNm)、地区名読み(AgrcltrlArNmRd)、 管理組織名(MngmntAssctnNm)、 管理組織名読み(MngmntAssctnNmRd)、都道府県名(PrfctrNm)、都道府県名読み(PrfctrNmRd)、 管理組織所在地(MngmntAssctnAdr)、管理組織所在地読み(MngmntAssctnAdrRd) を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
AgrcltrlArNm	AgriculturalAreaName	地区名		○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	地区名を記述する。	地区名を記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 システム情報のみ必須属性とする。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	○○地区
AgrcltrlArNmRd	AgriculturalAreaNameReading	地区名読み		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	地区名のフリガナを記述する。	地区名のフリガナを全角カタカナで記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	マルマルチク
MngmntAssctnNm	ManagementAssociationName	管理組織名		○	○	○	○	○	○	○	要素	管理組織（管理主体）名を記述する。	管理組織（管理主体）名を記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	○×土地改良区
MngmntCd	ManagementCode	管理レベルコード		○	○	○	○	○	○	○	属性	管理レベルコードを記述する。	農業水利ストック情報データベース「管理組織マスタ」の「管理レベルコード」を指定する。	MngmntAssctnNmの属性とする。 非負の整数型とする。 0～9 までの数値を指定する。 該当する管理組織が無い場合は、管理組織に相談の上、適切な管理レベルコードを指定すること。	6
AssctnCd	AssociationCode	組織コード		○	○	○	○	○	○	○	属性	組織コードを記述する。	農業水利ストック情報データベース「管理組織マスタ」の「組織コード」を指定する。	MngmntAssctnNmの属性とする。 非負の整数型とする。 0～9999 までの数値を指定する。 該当する管理組織が無い場合は、管理組織に相談の上、適切な組織コードを指定すること。	111
MngmntAssctnNmRd	ManagementAssociationNameReading	管理組織名読み		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	管理組織（管理主体）名のフリガナを記述する。	管理組織（管理主体）名のフリガナを全角カタカナで記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	マルマルトチカイリョウク
PrfctrNm	PrefectureName	都道府県名		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	都道府県名を記述する。	管理組織がある都道府県名を記述する。	文字列型とする。 3文字～4文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 都道府県名はフルネーム（～県　等）で記述すること。	東京都
PrfctrCd	PrefectureCode	都道府県コード		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	属性	都道府県毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。	管理組織がある都道府県のコードを指定する。 農業水利ストック情報データベース「都道府県マスタ」の「都道府県コード」を指定する。	正整数型とする。 1～47 までの数値を指定する。	13
PrfctrNmRd	PrefectureNameReading	都道府県名読み		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	都道府県名のフリガナを記述する。	管理組織がある都道府県名のフリガナを全角カタカナで記述する。	文字列型とする。 4文字～6文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 都道府県名はフルネーム（～ケン　等）で記述すること。	トウキョウト
MngmntAssctnAdr	ManagementAssociationAddress	管理組織所在地		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	管理組織がある所在地を記述する。	管理組織がある所在地を記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 住居表示は－(ハイフン)で示さずに丁目・番地（番）・号と漢字で記述すること。 住居表示の数字は算用数字で記述すること。	東京都○○郡□町△１丁目１番１号
MngmntAssctnAdrRd	ManagementAssociationAddressReading	管理組織所在地読み		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	管理組織がある所在地のフリガナを記述する。	管理組織がある所在地のフリガナを全角カタカナで記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 住居表示に使用されている数字はフリガナをふらずに算用数字のまま記述すること。	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク１チョウメ１バン１ゴウ
RprtDtTm	ReportDateTime	報告日時		○	○	○	○	○	○	○	要素	報告書の日時に関する情報を記述する。	報告年月(RprtMth)、報告日(RprtDay)、報告時刻(RprtTm)、更新日時(RprtUpdtDtTm)、 報告書改訂履歴(RprtRev)、報告書最古日時(RprtStartDtTm)、報告書最新日時(RprtEndDtTm) を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
RprtMth	ReportMonth	報告年月						○			要素	報告書の年月を記述する。	報告書のデータに該当する年月（何年何月の月報なのか）を記述する。	XML Schemaの基本データ型gYearMonthに準拠する。 報告書のデータに該当する月を記述する。	2006-12
RprtDay	ReportDay	報告日			○	○	○		○	○	要素	報告書の年月日、または、運行履歴中の各事象の発生日を記述する。	(1) 最新データまたはSVデータの場合、RprtTmと共に使用し、報告書に該当する年月日（いつの最新データまたはSVデータなのか）を記述する。 (2) 定時データ、日報データの場合、報告書に該当する年月日（何年何月何日のデータなのか）を記述する。 (3) 運行履歴データの場合、各事象(WrkDt)ごとにその時刻を表すために使用される。RprtTmと共に使用し、各事象の発生時刻を記述する。	XML Schemaの基本データ型dateに準拠する。 報告書のデータに該当する月を記述する。	2006-12-01

【凡例】 ○：必須項目　◆：選択項目

表 4.1　タグ一覧表　（2／4）

要素・属性名	英語名	日本語名	備考	システム	最新	定時	日報	月報	運行履歴	SV	区分	概要	詳細仕様	データ型・制限等	値の例
RprtTm	ReportTime	報告時刻			○				○	○	要素	報告書の時刻、または、運行履歴中の各事象の発生時刻を記述する。	(1) 最新データまたはSVデータの場合、RprtDayと共に使用し、報告書に該当する時刻（いつの最新データまたはSVデータなのか）を記述する。 (2) 運行履歴データの場合、各事象(WrkDt)ごとにその時刻を表すために使用される。RprtDayと共に使用し、各事象の発生時刻を記述する。	XML Schemaの基本データ型timeに準拠する。 報告書のデータに該当する月を記述する。	23:53:15
RprtUpdtDtTm	ReportUpdateDateTime	更新日時		○	○	○	○	○	○	○	要素	XMLデータ（インスタンス）を更新（作成）した日時を記述する。	XMLデータ（インスタンス）を更新（作成）した日時を記述する。	XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。 報告書のデータに該当する月を記述する。	2006-12-01T23:53:15
RprtRev	ReportRevision	報告書改訂履歴			◆	◆	◆	◆		◆	要素	報告書の版数を記述する。	一度作成したXMLデータを更新する場合に以前のレビジョンに1足した値を記述する。 最新データ、SVデータの場合は、通常1を指定する。同一報告年月日・同一報告時刻のXMLデータを更新する必要がある場合に限りレビジョンを1足する。	正整数型とする。 本タグを省略した場合にはレビジョンは「1」と見なする。	2
RprtStartDtTm	ReportStartDateTime	報告書最古日時							○		要素	運行履歴の開始日時を記述する。	運行履歴の開始日時を記述する。	XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。	2006-12-01T23:53:15
RprtEndDtTm	ReportEndDateTime	報告書最新日時							○		要素	運行履歴の終了日時を記述する。	運行履歴の終了日時を記述する。	XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。	2006-12-01T23:53:15
InstnInfo	InstitutionInformation	施設情報		◆							要素	全施設に関する情報を記述する。	施設(Instn)を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
Instn	Institution	施設		○	○	○	○	○			要素	施設毎にデータを取りまとめる。	施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、緯度(Lat_JGD)、経度(Lon_JGD)、 最新データ(RltTmDt)、諸量データ(ClcItDt) を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
InstnNm	InstitutionName	施設名		○	○	○	○	○	○	○	要素	施設名を記述する。	施設とは頭首工やポンプ場からテレメータ観測局までを含む。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 施設名の末尾の名詞は可能な限り下記の表から適切なものを選んで使用すること。	(1) A頭首工 (2) B水位・雨量観測局
InstnTypCd	InstitutionTypeCode	施設タイプコード		○	○	○	○	○	○	○	属性	施設の種別毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。	下記「施設タイプ参考区分」を指定する。	InstnNmの属性とする。 文字列型とする。16進数形式で指定する。 施設が複数の区分に該当する場合は、それらの合計値で指定する。 該当するコードが無い場合は、管理組織に相談の上、適切なコードを指定すること。	(1) 1（ダムの場合） (2) 1800（水位・雨量観測局の場合）
IrrgtnOrDrng	IrrigationOrDrainage	用排水区分		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	属性	当該施設の用途を記述する。	農業水利ストック情報データベース「用排施設区分マスタ」の「用排施設区分コード」を指定する。	InstnNmの属性とする。 正の整数型とする。 1～3 までの数値を指定する。	1
InstnCd	InstitutionCode	施設コード	Ver1.00では使用不可	×	×	×	×	×	×	×	属性	施設毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。（将来用）	施設毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。（将来用）	InstnNmの属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。 非負の整数型とする。	13001001（など、将来検討）
InstnNmRd	InstitutionNameReading	施設名読み		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	施設名のフリガナを記述する。	施設名のフリガナを全角カタカナで記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	エートウシュコウ
Lat_JGD	Latitude_JGD2000	緯度(JGD2000)		◆							要素	施設位置情報（緯度）を記述する。	JSGI2.0にて示されている緯度表記方法により記述する。	浮動小数点型とする。	35.416667
Lon_JGD	Longitude_JGD2000	経度(JGD2000)		◆							要素	施設位置情報（経度）を記述する。	JSGI2.0にて示されている経度表記方法により記述する。	浮動小数点型とする。	136.75
RltTmDt	RealTimeData	最新データ			○						要素	最新データに関する情報を取りまとめる。	データ名(DtNm)、データ単位(DtUn)、観測データ(ObsrvVal) を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
ClcItDt	CalculateData	諸量データ				○	○	○			要素	諸量データに関する情報を取りまとめる。	データ名(DtNm)、データ単位(DtUn)、観測データ(ObsrvDt)、集計データ(ClItDt) を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
ObsrvDt	ObserveData	観測データ				○	○	○			要素	観測データに関する情報を取りまとめる。	観測値(ObsrvVal)を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
ClItDt	CollateData	集計データ					◆	◆			要素	集計データに関する情報を取りまとめる。	集計値(ClItVal)を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
WrkDt	WorkingData	運行履歴データ							○		要素	運行履歴に関する情報を取りまとめる。	施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、SV・運行履歴項目(ItmDt)、事象(OcrdKnd)、 報告日(RprtDay)、報告時刻(RprtTm)、状態データ(CndtnDt)を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
SV_CndtnDt	ConditionData	SVデータ								○	要素	SVデータに関する情報を取りまとめる。	施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、SV・運行履歴項目(ItmDt)、事象(OcrdKnd)、 状態データ(CndtnDt)を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
DtNm	DataName	データ名			○	○	○	○			要素	データ名を記述する。	諸量データ名を全角文字で記述する。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 データ名は、可能な限り、下記の接頭語1つ＋諸量データ名＋（個別名）の形とすること。 ただし、接頭語・個別名は省略可能とする。個別名の省略時はカッコも省略する。	(1) 堰水位（上流右岸） (2) 上流水位（No.7分水工） (3) 雨量
DtUn	DataUnit	データ単位			○	○	○	○			要素	当該データに対応する単位を記述する。	諸量データの単位を半角文字にて記述する（セ氏温度、掛け算をあらわすドットのみ全角）。 単位を示す[ ]は記述しない。原則として、SI単位系に準拠すること。	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 代表的なデータ単位は下記のXMLインスタンス例に示したが、その他のSI単位については、本項の制限などに準拠し、下記の例示に則した記述とすること。	EL.m
ObsrvVal	ObserveValue	観測値			○	○	○	○			要素	観測データの値を記述する。	DtUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。	固定小数点型とする。	123.45
ObsrvDay	ObserveDay	観測日						○			属性	当該データの観測日を記述する。	当該データの観測日を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。	正整数型とする。 1～31 までの数値を指定する。	1

【凡例】 ○：必須項目　◆：選択項目

表 4.1　タグ一覧表　（3／4）

要素・属性名	英語名	日本語名	備考	システム	最新	定時	日報	月報	運行履歴	SV	区分	概要	詳細仕様	データ型・制限等	値の例
ObsrvTm	ObserveTime	観測時刻				○	○				属性	当該データの観測時刻を記述する。	当該データの観測時刻を、半角算用数字またはXML Schemaの基本データ型timeに準拠して記述する。毎正時のデータの場合は半角算用数字、ポンプ運転開始等の時刻におけるデータの場合はtime型（例外として、24:00:00を記述したい場合のみdateTime型とし、翌日00:00:00の形式）で記述する。	ObsrvValの属性とする。 (1) 毎正時のデータの場合：正整数型。1～24までの数値を指定する。 (2) ポンプ運転開始時刻等の場合：time型。00:00:00～23:59:59 までの時刻を指定する。 (3) 例外：ポンプ運転開始時刻等が24時ちょうどの場合：dateTime型。	(1) 24（深夜0時の正時データの場合） (2) 23:53:15（ポンプ運転開始時刻の場合） (3) 2006-12-02T00:00:00（ポンプ運転開始時刻が12/1 24:00:00の場合）
ObsrvFlg	ObserveFlag	観測データフラグ			◆	◆	◆	◆			属性	観測データのフラグ記述する。	下記「データフラグ一覧」より指定する。	ObsrvValの属性とする。 文字列型とする。16進数形式で指定する。 複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。	50
ObsrvKnd	ObserveKind	観測データ種別			◆	◆	◆	◆			属性	観測データの種別を記述する。	下記「観測データ種別」より指定する。	ObsrvValの属性とする。 非負の整数型とする。 省略した場合は0とみなす。	1
CllctVal	CollateValue	集計値					○	○			要素	集計データの値を記述する。	DtUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。	固定小数点型とする。	123.45
CllctNm	CollateName	集計データ名					○	○			属性	集計データ名を記述する。	指定されている集計データ名に従って全角文字にて記述する。	集計値(CllctVal)の属性とする。 文字列型とする。 集計データ名は下記の集計データ名一覧より選択すること。	最大
CllctDay	CollateDay	集計データ日						◆			属性	集計データに対応する日を記述する。	当該集計データが「最大」または「最小」のときに指定し、最大値または最小値を観測した日を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。 当該集計データが「合計」または「平均」のときには意味を持たないものとする。	集計値(CllctVal)の属性とする。 正整数型とする。 1～31 までの数値を指定する。	6
CllctTm	CollateTime	集計データ時刻					◆	◆			属性	集計データに対応する時刻を記述する。	当該集計データが「最大」または「最小」のときに指定し、最大値または最小値を観測した時刻（時のみ）を記述する。 当該集計データが「合計」または「平均」のときには意味を持たないものとする。	集計値(CllctVal)の属性とする。 正整数型とする。 1～24の数値を指定する。	5
CllctFlg	CollateFlag	集計データフラグ					◆	◆			属性	集計データフラグを記述する。	下記「データフラグ一覧」より指定する。	CllctValの属性とする。 文字列型とする。16進数形式で指定する。 複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。	50
CllctKnd	CollateKind	集計データ種別					◆	◆			属性	集計データの種別を記述する。	下記「集計データ種別」より指定する。 報告書に記載されているデータを元に算出した合計・平均・最大・最小の場合は（帳票）、 諸量データを元に算出した合計・平均・最大・最小の場合は（諸量）とする。	CllctValの属性とする。 非負の整数型とする。 省略した場合は0とみなす。	1
CllctTmng	CollateTiming	集計タイミング					◆				属性	集計タイミングを記述する。	下記「集計タイミング一覧」より指定する。	CllctValの属性。 非負の整数型。 省略した場合は0とみなす。	1
ItmCntnt	ItemContent	SV・運行履歴項目内容							○	○	要素	事象が発生している設備名や装置名およびその設備や装置の項目内容を記述する。	管理項目表の名称に従って記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 取水ロゲート機側操作盤　油圧ポンプ異常 (2) 左岸貯水位　上限オーバ (3) 洪水吐ゲート　2号　開度計　パリティ異常
OcrdKnd	OccurredKind	事象（発生・復帰等）							○	○	要素	事象の発生状況を記述する。	可能な限り、「発生状況一覧」より選んで全角文字で記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 発生 (2) 復帰
OcrdLvl	OccurredLevel	発生事象レベル							◆	◆	属性	事象の警報レベルを記述する。	可能な限り、「警報レベル一覧」より選んで記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	A
CndtnCntnt	ConditionContent	状態データ内容							◆	◆	要素	事象発生時に合わせて記録すべきデータの内容等を文字列で記述する。	上限オーバの現在値と設定値やパリティビット情報、その他参考情報など、フリーフォーマットで記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) （なし） (2) 設定値　1.23 m　貯水位　1.24 m (3) 開度　1.23 m　パリティ　0000
ItmDt1	ItemData1	SV・運行履歴項目1（装置名等）							◆	◆	要素	事象が発生している設備名や装置名を記述する。	管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 取水ロゲート (2) 貯水位計 (3) 洪水吐ゲート
ItmCd1	ItemCode1	SV・運行履歴項目1（装置名等）コード	Ver1.00では使用不可						×	×	属性	事象が発生している設備名や装置名のコード（将来用）を記述する。	設備名や装置名のコード（将来用）を記述する。	ItmDt1の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。 非負の整数型とする。	01（など、将来検討）
ItmDt2	ItemData2	SV・運行履歴項目2（号機等）							◆	◆	要素	事象が発生している設備や装置の号機や分類を記述する。	管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) （なし） (2) 左岸 (3) 2号
ItmCd2	ItemCode2	SV・運行履歴項目2（号機等）コード	Ver1.00では使用不可						×	×	属性	事象が発生している設備や装置の号機や分類のコード（将来用）を記述す	設備や装置の号機や分類のコード（将来用）を記述する。	ItmDt2の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。 非負の整数型とする。	01（など、将来検討）
ItmDt3	ItemData3	SV・運行履歴項目3（明細項目等）							◆	◆	要素	事象が発生している設備や装置の明細を記述する。	管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 機側操作盤 (2) （なし） (3) 開度計
ItmCd3	ItemCode3	SV・運行履歴項目3（明細項目等）コード	Ver1.00では使用不可						×	×	属性	事象が発生している設備や装置の明細コード（将来用）を記述する。	設備や装置の明細コード（将来用）を記述する。	ItmDt3の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。 非負の整数型とする。	01（など、将来検討）
ItmDt4	ItemData4	SV・運行履歴項目4（詳細項目等）							◆	◆	要素	事象が発生している設備や装置の詳細を記述する。	管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 油圧ポンプ異常 (2) 上限オーバ (3) パリティ異常
ItmCd4	ItemCode4	SV・運行履歴項目4（詳細項目等）コード	Ver1.00では使用不可						×	×	属性	事象が発生している設備や装置の詳細コード（将来用）を記述する。	設備や装置の詳細コード（将来用）を記述する。	ItmDt4の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。 非負の整数型とする。	01（など、将来検討）

【凡例】 ○：必須項目　◆：選択項目

表 4.1　タグ一覧表　（4／4）

要素・属性名	英語名	日本語名	備考	システム	最新	定時	日報	月報	運行履歴	SV	区分	概要	詳細仕様	データ型・制限等	値の例
CndtnDt	ConditionData	状態データ							◆	◆	要素	事象発生時に合わせて記録すべきデータを記述する。	状態データ名（CndtnNm）、状態データ単位（CndtnUn）、状態データ値（CndtnVal）を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
CndtnNm	ConditionName	状態データ名							○	○	要素	事象発生時に合わせて記録すべきデータ名を記述する。	事象発生時に合わせて記録すべきデータ名を記述する。 データ名の記述の方法は「データ名」（DtNm）と同様とする。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 データ名は、可能であれば、「データ名」（DtNm）で示した接頭語1つ＋諸量データ名＋（個別名）の形とする。 ただし、接頭語・個別名は省略可能。個別名の省略時はカッコも省略する。 また、上下限設定値や数値制御設定値の場合は「設定値」とのみ記述する。	(1) 開度 (2) 設定値 (3) パリティ
CndtnUn	ConditionUnit	状態データ単位							◆	◆	要素	事象発生時に合わせて記録すべきデータの単位を記述する。	事象発生時に合わせて記録すべきデータの単位を半角文字にて記述する（セ氏温度、掛け算をあらわすドットのみ全角）。 単位を示す[ ]は記述しない。基本的にはSI単位系に準拠とする。 状態データ単位の記述の方法は「データ単位」（DtUn）と同様とする。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 データ単位は、可能な限り、「データ単位」（DtUn）のいずれかから選ぶものとする。	(1) m (2) EL.m (3) （なし）
CndtnVal	ConditionValue	状態データ値							○	○	要素	事象発生時に合わせて記録すべきデータの値を記述する。	CndtnUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。	文字列型。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	(1) 1.23 (2) 123.45 (3) 0000
CndtnFlg	ConditionFlag	状態データフラグ							◆	◆	属性	事象発生時に合わせて記録すべきデータの状態を記述する。	記述の方法は「観測データフラグ」（ObsrvFlg）と同様とする。	CndtnValの属性。 文字列型。16進数形式で指定する。 複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。	50
CndtnKnd	ConditionKind	状態データ種別							◆	◆	属性	事象発生時に合わせて記録すべきデータの種別を記述する。	記述の方法は「観測データ種別」（ObsrvKnd）と同様とする。	ObsrvValの属性。 非負の整数型。 省略した場合は0とみなす。	0
UpdtHstry	UpdateHistory	更新履歴		◆							要素	最新データ、定時データ、日報データ、月報データ、運行履歴データ、SVデータがそれぞれいつ更新されたかを記述する。	報告書（Rprt）を中に記述する。 中のRprtタグの個数は、外部公開が必要なXMLデータの個数と同じになる。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
Rprt	Report	報告書		○							要素	報告書が最終改版された日時およびその報告書名を記述する。	報告書名（RprtNm）、報告書更新日時（RprtUpdtDtTm）を中に記述する。	詳細仕様に記載した要素を参照。	詳細仕様に記載した要素を参照。
Memo	Memo	メモ		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	メモの内容を記述する。	報告書にメモ（注釈・備考）を残す場合、その内容を記述する。	文字列型。 1文字～1000文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。
ExtndCntnts	ExtendContents	拡張コンテンツ		◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	要素	本XMLツリー内では記述できない情報を、このタグ内に記述する。	本XMLツリー内では記述できない情報を、このタグ内に記述する。 ただし、名前空間が同じ(maff)データを記述することはできない。	名前空間が本XML(maff)ではないタグであれば、最大50個まで自由に記述してよい。 本タグ内の記述に関しては、整形済みであること。妥当性のチェックは行わない。	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>鳥川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC </myCompany:chohyoCode> </maff:ExtndCntnts>

【凡例】 ○：必須項目　◆：選択項目

要素・属性名　RprtNm
英語名　ReportName
日本語名　報告書名
区分　要素
概要　報告書名を記述する。
詳細仕様　作成する報告書に合った報告書名を記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) システム情報データ
(2) 最新データ
(3) 定時データ
(4) 日報データ
(5) 月報データ
(6) 運行履歴データ
(7) SVデータ

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　RprtCd
英語名　ReportCode
日本語名　報告書コード
区分　属性
概要　報告書コード(将来用)を記述する。
詳細仕様　報告書コード(将来用)を記述する。
データ型・制限等　RprtNmの属性とする(Ver.1.00 ではこの属性は指定できない)。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　01001(など、将来検討)

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	×	－	－
最新データ	×	－	－
定時データ	×	－	－
日報データ	×	－	－
月報データ	×	－	－
運行履歴データ	×	－	－
SVデータ	×	－	－

要素・属性名　RprtVer
英語名　ReportVersion
日本語名　報告書コードヴァージョン
区分　属性
概要　本報告書のXMLツリー構造のヴァージョンを記述する。
詳細仕様　当該報告書の標準XMLツリー構造が改訂されたときにヴァージョンが上がるものとする。
本仕様書では初版になるので、「1.00」と入力すること。
データ型・制限等　RprtNmの属性とする。
固定小数点型とする。
小数点以下は2桁まで記述できる。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　1.00

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　MngmntLctn
英語名　ManagementLocation
日本語名　管理場所
区分　要素
概要　管理組織、地区等の場所や住所を記述する。
詳細仕様　地区名(AgrcltrlArNm)、地区名読み(AgrcltrlArNmRd)、管理組織名(MngmntAssctnNm)、
管理組織名読み(MngmntAssctnNmRd)、都道府県名(PrfctrNm)、都道府県名読み
(PrfctrNmRd)、
管理組織所在地(MngmntAssctnAdr)、管理組織所在地読み(MngmntAssctnAdrRd)
を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　AgrcltrlArNm
英語名　AgriculturalAreaName
日本語名　地区名
区分　要素
概要　地区名を記述する。
詳細仕様　地区名を記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
システム情報のみ必須属性とする。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　○○地区

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　AgrcltrlArNmRd
英語名　AgriculturalAreaNameReading
日本語名　地区名読み
区分　要素
概要　地区名のフリガナを記述する。
詳細仕様　地区名のフリガナを全角カタカナで記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　マルマルチク

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　MngmntAssctnNm
英語名　ManagementAssociationName
日本語名　管理組織名
区分　要素
概要　管理組織（管理主体）名を記述する。
詳細仕様　管理組織（管理主体）名を記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　○×土地改良区

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　MngmntCd
英語名　ManagementCode
日本語名　管理レベルコード
区分　属性
概要　管理レベルコードを記述する。
詳細仕様　農業水利ストック情報データベース「管理組織マスタ」の「管理レベルコード」を指定する。
データ型・制限等　MngmntAssctnNmの属性とする。
非負の整数型とする。
0～9 までの数値を指定する。
該当する管理組織が無い場合は、管理組織に相談の上、適切な管理レベルコードを指定す
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　6

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	－	1
最新データ	○	－	1
定時データ	○	－	1
日報データ	○	－	1
月報データ	○	－	1
運行履歴データ	○	－	1
SVデータ	○	－	1

要素・属性名　AssctnCd
英語名　AssociationCode
日本語名　組織コード
区分　属性
概要　組織コードを記述する。
詳細仕様　農業水利ストック情報データベース「管理組織マスタ」の「組織コード」を指定する。
データ型・制限等　MngmntAssctnNmの属性とする。
非負の整数型とする。
0～9999 までの数値を指定する。
該当する管理組織が無い場合は、管理組織に相談の上、適切な組織コードを指定すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　111

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	－	1
最新データ	○	－	1
定時データ	○	－	1
日報データ	○	－	1
月報データ	○	－	1
運行履歴データ	○	－	1
SVデータ	○	－	1

要素・属性名　MngmntAssctnNmRd
英語名　ManagementAssociationNameReading
日本語名　管理組織名読み
区分　要素
概要　管理組織（管理主体）名のフリガナを記述する。
詳細仕様　管理組織（管理主体）名のフリガナを全角カタカナで記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　マルマルトチカイリョウク

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　PrfctrNm
英語名　PrefectureName
日本語名　都道府県名
区分　要素
概要　都道府県名を記述する。
詳細仕様　管理組織がある都道府県名を記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
3文字～4文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
都道府県名はフルネーム（～県　等）で記述すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　東京都

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　PrfctrCd
英語名　PrefectureCode
日本語名　都道府県コード
区分　属性
概要　都道府県毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。
詳細仕様　管理組織がある都道府県のコードを指定する。
農業水利ストック情報データベース「都道府県マスタ」の「都道府県コード」を指定する。
データ型・制限等　正整数型とする。
1～47 までの数値を指定する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　13

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　PrfctrNmRd
英語名　PrefectureNameReading
日本語名　都道府県名読み
区分　要素
概要　都道府県名のフリガナを記述する。
詳細仕様　管理組織がある都道府県名のフリガナを全角カタカナで記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
4文字～6文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
都道府県名はフルネーム（～ケン　等）で記述すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　トウキョウト

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　MngmntAssctnAdr
英語名　ManagementAssociationAddress
日本語名　管理組織所在地
区分　要素
概要　管理組織がある所在地を記述する。
詳細仕様　管理組織がある所在地を記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
住居表示は－(ハイフン)で示さずに丁目・番地（番）・号と漢字で記述すること。
住居表示の数字は算用数字で記述すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　東京都〇〇郡□町△1丁目1番1号

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　MngmntAssctnAdrRd
英語名　ManagementAssociationAddressReading
日本語名　管理組織所在地読み
区分　要素
概要　管理組織がある所在地のフリガナを記述する。
詳細仕様　管理組織がある所在地のフリガナを全角カタカナで記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
住居表示に使用されている数字はフリガナをふらずに算用数字のまま記述すること。
XMLインスタンス例　トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク1チョウメ1バン1ゴウ

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　RprtDtTm
英語名　ReportDateTime
日本語名　報告日時
区分　要素
概要　報告書の日時に関する情報を記述する。
詳細仕様　報告年月(RprtMth)、報告日(RprtDay)、報告時刻(RprtTm)、更新日時(RprtUpdtDtTm)、報告書改訂履歴(RprtRev)、報告書最古日時(RprtStartDtTm)、報告書最新日時(RprtEndDtTm)
を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLインスタンス例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　RprtMth
英語名　ReportMonth
日本語名　報告年月
区分　要素
概要　報告書の年月を記述する。
詳細仕様　報告書のデータに該当する年月（何年何月の月報なのか）を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型gYearMonthに準拠する。
XMLインスタンス例　2006-12

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　RprtDay
英語名　ReportDay
日本語名　報告日
区分　要素
概要　報告書の年月日、または、運行履歴中の各事象の発生日を記述する。
詳細仕様　(1) 最新データまたはSVデータの場合、RprtTmと共に使用し、報告書に該当する年月日（いつの最新データまたはSVデータなのか）を記述する。
(2) 定時データ、日報データの場合、報告書に該当する年月日（何年何月何日のデータなのか）を記述する。
(3) 運行履歴データの場合、各事象(WrkDt)ごとにその時刻を表すために使用される。RprtTmと共に使用し、各事象の発生時刻を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型dateに準拠する。
XMLインスタンス例　2006-12-01

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　RprtTm
英語名　ReportTime
日本語名　報告時刻
区分　要素
概要　報告書の時刻、または、運行履歴中の各事象の発生時刻を記述する。
詳細仕様　(1) 最新データまたはSVデータの場合、RprtDayと共に使用し、報告書に該当する時刻（いつの最新データまたはSVデータなのか）を記述する。
(2) 運行履歴データの場合、各事象(WrkDt)ごとにその時刻を表すために使用される。
RprtDayと共に使用し、各事象の発生時刻を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型timeに準拠する。
XMLインスタンス例　23:53:15

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	1
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　RprtUpdtDtTm
英語名　ReportUpdateDateTime
日本語名　更新日時
区分　要素
概要　XMLデータ（インスタンス）を更新（作成）した日時を記述する。
詳細仕様　XMLデータ（インスタンス）を更新（作成）した日時を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。
XMLインスタンス例　2006-12-01T23:53:15

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　RprtRev
英語名　ReportRevision
日本語名　報告書改訂履歴
区分　要素
概要　報告書の版数を記述する。
詳細仕様　一度作成したXMLデータを更新する場合に以前のレビジョンに1足した値を記述する。
最新データ、SVデータの場合は、通常1を指定する。同一報告年月日・同一報告時刻のXMLデータを更新する必要がある場合に限りレビジョンを1足する。
データ型・制限等　正整数型とする。
本タグを省略した場合にはレビジョンは「1」と見なする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　2

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　RprtStartDtTm
英語名　ReportStartDateTime
日本語名　報告書最古日時
区分　要素
概要　運行履歴の開始日時を記述する。
詳細仕様　運行履歴の開始日時を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　2006-12-01T23:53:15

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ			

要素・属性名　RprtEndDtTm
英語名　ReportEndDateTime
日本語名　報告書最新日時
区分　要素
概要　運行履歴の終了日時を記述する。
詳細仕様　運行履歴の終了日時を記述する。
データ型・制限等　XML Schemaの基本データ型dateTimeに準拠する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　2006-12-01T23:53:15

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ			

要素・属性名　InstnInfo
英語名　InstitutionInformation
日本語名　施設情報
区分　要素
概要　全施設に関する情報を記述する。
詳細仕様　施設(Instn)を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　Instn
英語名　Institution
日本語名　施設
区分　要素
概要　施設毎にデータを取りまとめる。
詳細仕様　施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、緯度(Lat_JGD)、経度(Lon_JGD)、
最新データ(RlTmDt)、諸量データ(ClcltDt)
を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	－
最新データ	○	1	－
定時データ	○	1	－
日報データ	○	1	－
月報データ	○	1	－
運行履歴データ			
SVデータ			

表4.2　ＸＭＬタグ詳細仕様

要素・属性名	InstnNm
英語名	InstitutionName
日本語名	施設名
区分	要素
概要	施設名を記述する。
詳細仕様	施設とは頭首工やポンプ場からテレメータ観測局までを含む。
データ型・制限等	文字列型とする。 1文字～100文字までに入力文字数が制限される。 半角カナ、機種依存文字は使用不可。 施設名の末尾の名詞は可能な限り下記の表から適切なものを選んで使用すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例	(1) A頭首工 (2) B水位・雨量観測局

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	1
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

施設名末尾一覧
「～ダム」「～頭首工」「～用水機場」「～排水機場」「～加圧機場」
「～用水路」「～排水路」「～分水工」「～給水工」「～調整施設」
「～付帯施設」「～水位観測局」「～雨量観測局」「～流量観測局」

要素・属性名　InstnTypCd
英語名　InstitutionTypeCode
日本語名　施設タイプコード
区分　属性
概要　施設の種別毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。
詳細仕様　下記「施設タイプ参考区分」を指定する。
データ型・制限等　InstnNmの属性とする。
文字列型とする。16進数形式で指定する。
施設が複数の区分に該当する場合は、それらの合計値で指定する。
該当するコードが無い場合は、管理組織に相談の上、適切なコードを指定すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 1（ダムの場合）
(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	－	1
最新データ	○	－	1
定時データ	○	－	1
日報データ	○	－	1
月報データ	○	－	1
運行履歴データ	○	－	1
SVデータ	○	－	1

施設タイプ参考区分(16進)
1「～ダム」
2「～頭首工」
4「～用水機場」
8「～排水機場」
10「～加圧機場」
20「～用水路」
40「～排水路」
80「～分水工」
100「～給水工」
200「～調整施設」

施設タイプ参考区分(16進)
400「～付帯施設」
800「～雨量観測局」
1000「～水位観測局」
2000「～流量観測局」
4000「～水質観測局」
8000「～中継局（観測局）」
10000「～放流警報局」
20000「～中継局（警報局）」
0「その他」

要素・属性名　IrrgtnOrDrng
英語名　IrrigationOrDrainage
日本語名　用排水区分
区分　属性
概要　当該施設の用途を記述する。
詳細仕様　農業水利ストック情報データベース「用排施設区分マスタ」の「用排施設区分コード」を指定する。
データ型・制限等　InstnNmの属性とする。
正の整数型とする。
1～3 までの数値を指定する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　1

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　InstnCd
英語名　InstitutionCode
日本語名　施設コード
区分　属性
概要　施設毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。（将来用）
詳細仕様　施設毎に一意に規定されているコードNo. を記述する。（将来用）
データ型・制限等　InstnNmの属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　13001001（など、将来検討）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	×	−	−
最新データ	×	−	−
定時データ	×	−	−
日報データ	×	−	−
月報データ	×	−	−
運行履歴データ	×	−	−
SVデータ	×	−	−

要素・属性名　InstnNmRd
英語名　InstitutionNameReading
日本語名　施設名読み
区分　要素
概要　施設名のフリガナを記述する。
詳細仕様　施設名のフリガナを全角カタカナで記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　エートウシュコウ

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	−	1
最新データ	◆	−	1
定時データ	◆	−	1
日報データ	◆	−	1
月報データ	◆	−	1
運行履歴データ	◆	−	1
SVデータ	◆	−	1

要素・属性名　Lat_JGD
英語名　Latitude_JGD2000
日本語名　緯度(JGD2000)
区分　要素
概要　施設位置情報（緯度）を記述する。
詳細仕様　JSGI2.0にて示されている緯度表記方法により記述する。
データ型・制限等　浮動小数点型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　35.416667

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	−	−
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　Lon_JGD
英語名　Longitude_JGD2000
日本語名　経度(JGD2000)
区分　要素
概要　施設位置情報（経度）を記述する。
詳細仕様　JSGI2.0にて示されている経度表記方法により記述する。
データ型・制限等　浮動小数点型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　136.75

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	－
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　RlTmDt
英語名　RealTimeData
日本語名　最新データ
区分　要素
概要　最新データに関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　データ名(DtNm)、データ単位(DtUn)、観測データ(ObsrvVal)
を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	－
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　ClcltDt
英語名　CalculateData
日本語名　諸量データ
区分　要素
概要　諸量データに関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　データ名(DtNm)、データ単位(DtUn)、観測データ(ObsrvDt)、集計データ(ClltDt)
を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ	○	1	－
日報データ	○	1	－
月報データ	○	1	－
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　ObsrvDt
英語名　ObserveData
日本語名　観測データ
区分　要素
概要　観測データに関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　観測値(ObsrvVal)を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLインスタンス例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ	○	1	－
日報データ	○	1	－
月報データ	○	1	－
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　CllctDt
英語名　CollateData
日本語名　集計データ
区分　要素
概要　集計データに関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　集計値(CllctVal)を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLインスタンス例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	◆	－	－
月報データ	◆	－	－
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　WrkDt
英語名　WorkingData
日本語名　運行履歴データ
区分　要素
概要　運行履歴に関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、SV・運行履歴項目(ItmDt)、事象(OcrdKnd)、報告日(RprtDay)、報告時刻(RprtTm)、状態データ(CndtnDt)を中に記述する。

データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLインスタンス例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	－
SVデータ			

要素・属性名　SV_CndtnDt
英語名　ConditionData
日本語名　SVデータ
区分　要素
概要　SVデータに関する情報を取りまとめる。
詳細仕様　施設名(InstnNm)、施設名読み(InstnNmRd)、SV・運行履歴項目(ItmDt)、事象(OcrdKnd)、状態データ(CndtnDt)を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ	○	1	-

要素・属性名　DtNm
英語名　DataName
日本語名　データ名
区分　要素
概要　データ名を記述する。
詳細仕様　諸量データ名を全角文字で記述する。
データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
データ名は、可能な限り、下記の接頭語1つ＋諸量データ名＋（個別名）の形とすること。
ただし、接頭語・個別名は省略可能とする。個別名の省略時はカッコも省略する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 堰水位（上流右岸）
(2) 上流水位（No.7分水工）
(3) 雨量

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

諸量データ名一覧	諸量データ名に対する接頭語
貯水位	
堰水位	
貯水量	
貯留量	
流入量	ゲート、バルブ、ダム、放水口、調整池、余水吐、維持、 河川、沈砂池
放流量	
流量	
取水量	水路、積算、ポンプ吐出、分水工（口）、分水、流出、導水路、 幹線、用水、上流、下流
水位	取水塔内、内、外、導水路、沈砂池、河川、上流、下流、水路、 調整池、幹線、チェック、チェック幹線、吸水槽、吐水槽、 ファームポンド
液位	燃料タンク貯油量
雨量	時間、累計、観測、流域平均時間、流域平均累計、 n分、n時間（n＝1～60までの整数）
開度	洪水吐、余水吐、常用洪水吐、非常用洪水吐、取水、調整、 放流、緊急放流、河川放流、チェックゲート、

要素・属性名　DtUn
英語名　DataUnit
日本語名　データ単位
区分　要素
概要　当該データに対応する単位を記述する。
詳細仕様　諸量データの単位を半角文字にて記述する（セ氏温度、掛け算をあらわすドットのみ全角）。
単位を示す[ ]は記述しない。原則として、SI単位系に準拠すること。

データ型・制限等　文字列型とする。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
代表的なデータ単位は下記のXMLインスタンス例に示したが、その他のSI単位については、本項の制限などに準拠し、下記の例示に則した記述とすること。

XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　EL.m

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

単位一覧
貯水量：[m3]
水位：[m][EL .m]
開度：[m][EL .m][%]
流量：[m3/s][L/min]
積算流量：[m3]
雨量：[mm]
積雪：[cm]
温度：[℃]
湿度：[%]

単位一覧
風速：[m/s]
日射量：[MJ]
日射時間：[Min]
圧力：[Mpa]
トルク：[N・m]
質量：[kg]
力：[N]

単位一覧
電流：[A]
電圧：[V][kV]
電力：[W][kW]
電力量：[Wh][kWh]
周波数：[Hz]

要素・属性名　ObsrvVal
英語名　ObserveValue
日本語名　観測値
区分　要素
概要　観測データの値を記述する。
詳細仕様　DtUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。
データ型・制限等　固定小数点型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　123.45

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	○	1	1
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　ObsrvDay
英語名　ObserveDay
日本語名　観測日
区分　属性
概要　当該データの観測日を記述する。
詳細仕様　当該データの観測日を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。
データ型・制限等　正整数型とする。
1～31 までの数値を指定する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　1

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　ObsrvTm
英語名　ObserveTime
日本語名　観測時刻
区分　属性
概要　当該データの観測時刻を記述する。
詳細仕様　当該データの観測時刻を、半角算用数字またはXML Schemaの基本データ型timeに準拠して記述する。毎正時のデータの場合は半角算用数字、ポンプ運転開始等の時刻におけるデータの場合はtime型（例外として、24:00:00を記述したい場合のみdateTime型とし、翌日00:00:00の形式）で記述する。
データ型・制限等　ObsrvValの属性とする。
(1) 毎正時のデータの場合：正整数型。1～24までの数値を指定する。
(2) ポンプ運転開始時刻等の場合：time型。00:00:00～23:59:59 までの時刻を指定する。
(3) 例外：ポンプ運転開始時刻等が24時ちょうどの場合：dateTime型。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 24（深夜0時の正時データの場合）
(2) 23:53:15（ポンプ運転開始時刻の場合）
(3) 2006-12-02T00:00:00（ポンプ運転開始時刻が12/1 24:00:00の場合）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ	○	1	1
日報データ	○	1	1
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　ObsrvFlg
英語名　ObserveFlag
日本語名　観測データフラグ
区分　属性
概要　観測データのフラグ記述する。
詳細仕様　下記「データフラグ一覧」より指定する。
データ型・制限等　ObsrvValの属性とする。
文字列型とする。16進数形式で指定する。
複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。
省略した場合は0とみなす。
XMLインスタンス例　50

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

データフラグ一覧
0「正常」
1「欠測」
2「未観測」
4「保守中」

データフラグ一覧
10「上限オーバ」
20「下限オーバ」
40「上昇中または増加中」
80「下降中または減少中」
100「前回値保持中」

要素・属性名　ObsrvKnd
英語名　ObserveKind
日本語名　観測データ種別
区分　属性
概要　観測データの種別を記述する。
詳細仕様　下記「観測データ種別」より指定する。
データ型・制限等　ObsrvValの属性とする。
非負の整数型とする。
省略した場合は0とみなす。
XMLインスタンス例　1

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

観測データ種別
0「1分瞬時データ」
1「1分平均データ」
2「10分平均データ」
3「30分平均データ」

観測データ種別
5「60分積算データ」
6「24時間平均データ」
7「24時間積算データ」

要素・属性名　CllctVal
英語名　CollateValue
日本語名　集計値
区分　要素
概要　集計データの値を記述する。
詳細仕様　DtUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。
データ型・制限等　固定小数点型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　123.45

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　CllctNm
英語名　CollateName
日本語名　集計データ名
区分　属性
概要　集計データ名を記述する。
詳細仕様　指定されている集計データ名に従って全角文字にて記述する。
データ型・制限等　集計値(CllctVal)の属性とする。
文字列型とする。
集計データ名は下記の集計データ名一覧より選択すること。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　最大

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	○	1	1
月報データ	○	1	1
運行履歴データ			
SVデータ			

集計データ名一覧
「合計」
「平均」
「最大」
「最小」

要素・属性名　CllctDay
英語名　CollateDay
日本語名　集計データ日
区分　属性
概要　集計データに対応する日を記述する。
詳細仕様　当該集計データが「最大」または「最小」のときに指定し、最大値または最小値を観測した日を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。
当該集計データが「合計」または「平均」のときには意味を持たないものとする。
データ型・制限等　集計値(CllctVal)の属性とする。
正整数型とする。
1～31 までの数値を指定する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　6

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　CllctTm
英語名　CollateTime
日本語名　集計データ時刻
区分　属性
概要　集計データに対応する時刻を記述する。
詳細仕様　当該集計データが「最大」または「最小」のときに指定し、最大値または最小値を観測した時刻(時のみ)を記述する。
当該集計データが「合計」または「平均」のときには意味を持たないものとする。
データ型・制限等　集計値(CllctVal)の属性とする。
正整数型とする。
1～24の数値を指定する。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　5

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　CllctFlg
英語名　CollateFlag
日本語名　集計データフラグ
区分　属性
概要　集計データフラグを記述する。
詳細仕様　下記「データフラグ一覧」より指定する。
データ型・制限等　CllctValの属性とする。
文字列型とする。16進数形式で指定する。
複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。
省略した場合は0とみなす。
XMLインスタンス例　50

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

データフラグ一覧
0「正常」
1「欠測」
2「未観測」
4「保守中」

データフラグ一覧
10「上限オーバ」
20「下限オーバ」
40「上昇中または増加中」
80「下降中または減少中」
100「前回値保持中」

要素・属性名　CllctKnd
英語名　CollateKind
日本語名　集計データ種別
区分　属性
概要　集計データの種別を記述する。
詳細仕様　下記「集計データ種別」より指定する。
報告書に記載されているデータを元に算出した合計・平均・最大・最小の場合は（帳票）、
諸量データを元に算出した合計・平均・最大・最小の場合は（諸量）とする。
データ型・制限等　CllctValの属性とする。
非負の整数型とする。
省略した場合は0とみなす。
XMLインスタンス例　1

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ			
SVデータ			

集計データ種別一覧
0「種別なし」
1「合計値」（帳票）
2「平均値」（帳票）
3「最大値」（帳票）
4「最小値」（帳票）

集計データ種別一覧
5「合計値」（諸量）
6「平均値」（諸量）
7「最大値」（諸量）
8「最小値」（諸量）

要素・属性名　CllctTmng
英語名　CollateTiming
日本語名　集計タイミング
区分　属性
概要　集計タイミングを記述する。
詳細仕様　下記「集計タイミング一覧」より指定する。
データ型・制限等　CllctValの属性。
非負の整数型。
省略した場合は0とみなす。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　1

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ	◆	－	1
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

集計タイミング一覧
0「種別なし」
1「0時集計（0:00～23:59で集計）」
2「0時集計（0:01～24:00で集計）」

要素・属性名　ItmCntnt
英語名　ItemContent
日本語名　SV・運行履歴項目内容
区分　要素
概要　事象が発生している設備名や装置名およびその設備や装置の項目内容を記述する。
詳細仕様　管理項目表の名称に従って記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 取水口ゲート機側操作盤　油圧ポンプ異常
(2) 左岸貯水位　上限オーバ
(3) 洪水吐ゲート　2号　開度計　パリティ異常

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　OcrdKnd
英語名　OccurredKind
日本語名　事象（発生・復帰等）
区分　要素
概要　事象の発生状況を記述する。
詳細仕様　可能な限り、「発生状況一覧」より選んで全角文字で記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 発生
(2) 復帰

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

発生状況一覧
「発生」「復帰」「起動」「停止」
「開中」「閉中」「上昇」「下降」
「正転」「逆転」
「ON」「OFF」

要素・属性名　OcrdLvl
英語名　OccurredLevel
日本語名　発生事象レベル
区分　属性
概要　事象の警報レベルを記述する。
詳細仕様　可能な限り、「警報レベル一覧」より選んで記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　A

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

警報レベル一覧
A「非常緊急対応」
AB「緊急対応」
B「即時対応・重大監視」
C「注意対応」

要素・属性名　CndtnCntnt
英語名　ConditionContent
日本語名　状態データ内容
区分　要素
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータの内容等を文字列で記述する。
詳細仕様　上限オーバの現在値と設定値やパリティビット情報、その他参考情報など、フリーフォーマットで記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1)（なし）
(2) 設定値　1.23 m　貯水位　1.24 m
(3) 開度　1.23 m　パリティ　0000

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ItmDt1
英語名　ItemData1
日本語名　SV・運行履歴項目１（装置名等）
区分　要素
概要　事象が発生している設備名や装置名を記述する。
詳細仕様　管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 取水口ゲート
(2) 貯水位計
(3) 洪水吐ゲート

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ItmCd1
英語名　ItemCode1
日本語名　SV・運行履歴項目１（装置名等）コード
区分　属性
概要　事象が発生している設備名や装置名のコード（将来用）を記述する。
詳細仕様　設備名や装置名のコード（将来用）を記述する。
データ型・制限等　ItmDt1の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　01（など、将来検討）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	×	－	－
SVデータ	×	－	－

要素・属性名　ItmDt2
英語名　ItemData2
日本語名　SV・運行履歴項目２（号機等）
区分　要素
概要　事象が発生している設備や装置の号機や分類を記述する。
詳細仕様　管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) （なし）
(2) 左岸
(3) 2号

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ItmCd2
英語名　ItemCode2
日本語名　SV・運行履歴項目２（号機等）コード
区分　属性
概要　事象が発生している設備や装置の号機や分類のコード（将来用）を記述する。
詳細仕様　設備や装置の号機や分類のコード（将来用）を記述する。
データ型・制限等　ItmDt2の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　01（など、将来検討）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	×	－	－
SVデータ	×	－	－

要素・属性名　ItmDt3
英語名　ItemData3
日本語名　SV・運行履歴項目３（明細項目等）
区分　要素
概要　事象が発生している設備や装置の明細を記述する。
詳細仕様　管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 機側操作盤
(2) （なし）
(3) 開度計

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ItmCd3
英語名　ItemCode3
日本語名　SV・運行履歴項目３（明細項目等）コード
区分　属性
概要　事象が発生している設備や装置の明細コード（将来用）を記述する。
詳細仕様　設備や装置の明細コード（将来用）を記述する。
データ型・制限等　ItmDt3の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　01（など、将来検討）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	×	－	－
SVデータ	×	－	－

要素・属性名　ItmDt4
英語名　ItemData4
日本語名　SV・運行履歴項目４（詳細項目等）
区分　要素
概要　事象が発生している設備や装置の詳細を記述する。
詳細仕様　管理項目表の名称に従って全角文字にて記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 油圧ポンプ異常
(2) 上限オーバ
(3) パリティ異常

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ItmCd4
英語名　ItemCode4
日本語名　SV・運行履歴項目４（詳細項目等）コード
区分　属性
概要　事象が発生している設備や装置の詳細コード（将来用）を記述する。
詳細仕様　設備や装置の詳細コード（将来用）を記述する。
データ型・制限等　ItmDt4の属性とする（Ver.1.00 ではこの属性は指定できない）。
非負の整数型とする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　01（など、将来検討）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	×	－	－
SVデータ	×	－	－

要素・属性名　CndtnDt
英語名　ConditionData
日本語名　状態データ
区分　要素
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータを記述する。
詳細仕様　状態データ名（CndtnNm）、状態データ単位（CndtnUn）、状態データ値（CndtnVal）を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	－
SVデータ	◆	－	－

要素・属性名　CndtnNm
英語名　ConditionName
日本語名　状態データ名
区分　要素
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータ名を記述する。
詳細仕様　事象発生時に合わせて記録すべきデータ名を記述する。
データ名の記述の方法は「データ名」（DtNm）と同様とする。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
データ名は、可能であれば、「データ名」（DtNm）で示した接頭語1つ＋諸量データ名＋（個別名）の形とする。
ただし、接頭語・個別名は省略可能。個別名の省略時はカッコも省略する。
また、上下限設定値や数値制御設定値の場合は「設定値」とのみ記述する。

XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 開度
(2) 設定値
(3) パリティ

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　CndtnUn
英語名　ConditionUnit
日本語名　状態データ単位
区分　要素
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータの単位を記述する。
詳細仕様　事象発生時に合わせて記録すべきデータの単位を半角文字にて記述する（セ氏温度、掛け算をあらわすドットのみ全角）。
単位を示す[ ]は記述しない。基本的にはSI単位系に準拠とする。
状態データ単位の記述の方法は「データ単位」（DtUn）と同様とする。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
データ単位は、可能な限り、「データ単位」（DtUn）のいずれかから選ぶものとする。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) m
(2) EL.m
(3) （なし）

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　CndtnVal
英語名　ConditionValue
日本語名　状態データ値
区分　要素
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータの値を記述する。
詳細仕様　CndtnUnで記述した単位に合わせて、データ値を半角算用数字にて記述する。値はゼロサプレスして記述する。
数値でない場合は、任意の文字列で表記してよい。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～100文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　(1) 1.23
(2) 123.45
(3) 0000

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	○	1	1
SVデータ	○	1	1

要素・属性名　CndtnFlg
英語名　ConditionFlag
日本語名　状態データフラグ
区分　属性
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータの状態を記述する。
詳細仕様　記述の方法は「観測データフラグ」（ObsrvFlg）と同様とする。
データ型・制限等　CndtnValの属性。
文字列型。16進数形式で指定する。
複数のフラグが該当する場合は、それらの合計値で指定する。
省略した場合は0とみなす。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　50

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　CndtnKnd
英語名　ConditionKind
日本語名　状態データ種別
区分　属性
概要　事象発生時に合わせて記録すべきデータの種別を記述する。
詳細仕様　記述の方法は「観測データ種別」（ObsrvKnd）と同様とする。
データ型・制限等　ObsrvValの属性。
非負の整数型。
省略した場合は0とみなす。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　0

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報			
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　UpdtHstry
英語名　UpdateHistory
日本語名　更新履歴
区分　要素
概要　最新データ、定時データ、日報データ、月報データ、運行履歴データ、SVデータがそれぞれいつ更新されたかを記述する。
詳細仕様　報告書（Rprt）を中に記述する。
中のRprtタグの個数は、外部公開が必要なXMLデータの個数と同じになる。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　Rprt
英語名　Report
日本語名　報告書
区分　要素
概要　報告書が最終改版された日時およびその報告書名を記述する。
詳細仕様　報告書名（RprtNm）、報告書更新日時（RprtUpdtDtTm）を中に記述する。
データ型・制限等　詳細仕様に記載した要素を参照。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　詳細仕様に記載した要素を参照。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	○	1	－
最新データ			
定時データ			
日報データ			
月報データ			
運行履歴データ			
SVデータ			

要素・属性名　Memo
英語名　Memo
日本語名　メモ
区分　要素
概要　メモの内容を記述する。
詳細仕様　報告書にメモ（注釈・備考）を残す場合、その内容を記述する。
データ型・制限等　文字列型。
1文字～1000文字までに入力文字数が制限される。
半角カナ、機種依存文字は使用不可。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例　2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

要素・属性名　ExtndCntnts
英語名　ExtendContents
日本語名　拡張コンテンツ
区分　要素
概要　本XMLツリー内では記述できない情報を、このタグ内に記述する。
詳細仕様　本XMLツリー内では記述できない情報を、このタグ内に記述する。
ただし、名前空間が同じ(maff)データを記述することはできない。
データ型・制限等　名前空間が本XML(maff)ではないタグであれば、最大50個まで自由に記述してよい。
本タグ内の記述に関しては、整形済みであること。妥当性のチェックは行わない。
XMLｲﾝｽﾀﾝｽ例

```
<maff:ExtndCntnts>
 <rxs:River rxs:riverCode="47">
  <rxs:Name>烏川</rxs:Name>
 </rxs:River>
 <myCompany:chohyoCode>123-ABC
  </myCompany:chohyoCode>
</maff:ExtndCntnts>
```

種別	必須○ 選択◆	発生回数	
		Min	Max
システム情報	◆	－	1
最新データ	◆	－	1
定時データ	◆	－	1
日報データ	◆	－	1
月報データ	◆	－	1
運行履歴データ	◆	－	1
SVデータ	◆	－	1

第５章　ファイル管理

5.1 一般事項

本ＸＭＬデータは、基本的にＦＴＰ(File Transfer Protocol)を使用して配信するものとするが、本システムは指定されたディレクトリ構造に従ってファイルを保存し、利用者がそのファイルを任意タイミングで取得するものとし、本システムからの自動配信は行わない。

5.2 アクセス権限

ＦＴＰによりファイルを公開する場合には、ユーザ名＋パスワードにてユーザ認証を行い、ファイルへのアクセス制限を行う。また、ディレクトリおよびファイルに関して、外部からのアクセスは読み取り専用とし、書き換え・移動・削除は行えないものとする。なお、ユーザ名とパスワードに関しては別途指示する。

補足事項として、県庁、市役所、農業関係者等への配信は、本システムから直接情報提供するものではなく、別途外部公開用Ｗｅｂサーバを経由するものとする。また、ＦＴＰ以外の通信手段(ＳＯＡＰ:Simple Object Access Protocol 等)によって情報提供する場合も同様に外部公開用Ｗｅｂサーバまたは内部公開用Ｗｅｂサーバ経由で行うものとする。そのことにより外部に向けてのセキュリティの向上や公開データのフィルタリングを図れるようにする。

5.3 ディレクトリ構造

ディレクトリ構造を図 5.3.1　ディレクトリ構成図に示す。

ルートディレクトリを除くディレクトリ名は、基本的に全角文字を使用し、西暦年および月といった数字に関してのみ半角文字を使用する。月を表現する際にゼロサプレスは行わず、『01月』といった表記を行うこと。

基本的には『/ftproot(ＦＴＰアクセスのルートディレクトリ)』の下に『最新データ』、『定時データ』、『日報データ』、『月報データ』、『運行記録データ』の５種類のディレクトリを作成する。この５つのディレクトリは必須とする。また、システムによっては、ＦＴＰアクセスのルートディレクトリを変更しても構わない。ただし、外部から本ＦＴＰサイトにアクセスしたルートディレクトリに前述の５種類のディレクトリが配置されるようにすること。

複数年・複数月にわたる保存データ(『定時データ』、『日報データ』、『運行記録データ』)は、『西暦年』および『月』の順でサブディレクトリを作成すること。

また、『月報データ』については、『西暦年』のみサブディレクトリを作成すること。

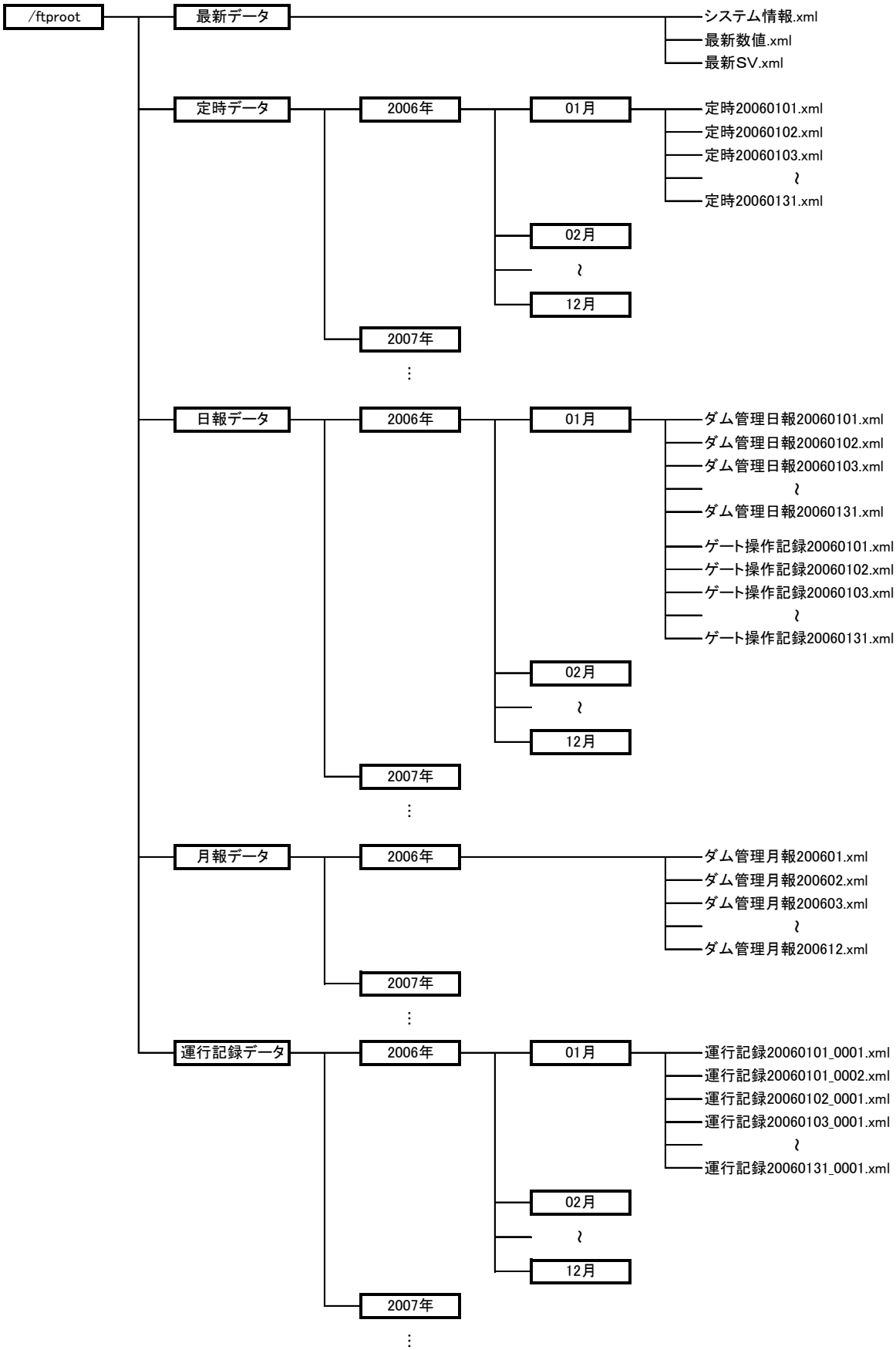


図 5.3.1　ディレクトリ構成図

5.4 ファイル名

ファイル名は、下記の規定に従って作成する。ファイル名は基本的に全角文字を使用し、西暦年および月日といった数字に関してのみ半角文字を使用する。月や日を表現する際にゼロサプレスは行わず、『01』の表記とすること。

(1) システム情報データ

ファイル名は、『システム情報.xml』とする。

(2) 最新データ

ファイル名は、『最新数値.xml』とする。

(3) 定時データ

ファイル名は、『｛帳票名｝yyyymmdd.xml(yyyy は西暦年、mm は月、dd は日)』とする。｛帳票名｝は、当該ＸＭＬデータの〈RprtNm〉に記述した内容を使用する。

(4) 日報(帳票)データ

ファイル名は、『｛帳票名｝yyyymmdd.xml(yyyy は西暦年、mm は月、dd は日)』とする。｛帳票名｝は、当該ＸＭＬデータの〈RprtNm〉に記述した内容を使用する。

(5) 月報(帳票)データ

ファイル名は、『｛帳票名｝yyyymm.xml(yyyy は西暦年、mm は月)』とする。｛帳票名｝は、当該ＸＭＬデータの〈RprtNm〉に記述した内容を使用する。

(6) 運用履歴データ

ＸＭＬデータの作成単位が１日の場合には、『運行記録 yyyymmdd_nnnn.xml(yyyy は西暦年、mm は月、dd は日、nnnn は通し番号)』とする。ＸＭＬデータの作成単位が１ヶ月の場合には、『運行記録 yyyymm_nnnn.xml(yyyy は西暦年、mm は月、nnnn は通し番号)』とする。通し番号は 0001 を初期値としてファイルが分割されたときに、前回値に１加算した値を使用する。

(7) ＳＶデータ

ファイル名は『最新ＳＶ.xml』とする。

第６章　XML Schema

XML Schema の共通定義を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 共通定義スキーマ version 1.00 -->
<!-- それぞれのスキーマは、この共通スキーマをインクルードする -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 要素 RprtNm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtNm" type="maff:RprtNm_type"/>

 <!-- RprtNm_type 型の定義 (Ver 1.00 では RprtCd 属性は禁止) -->
 <xsd:complexType name="RprtNm_type">
  <xsd:simpleContent>
   <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
    <xsd:attribute ref="maff:RprtCd" use="prohibited" />
    <xsd:attribute ref="maff:RprtVer" use="required" />
   </xsd:extension>
  </xsd:simpleContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- ShortString 型の定義 -->
 <xsd:simpleType name="ShortString_type">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
   <xsd:whiteSpace value="collapse" />
   <xsd:minLength value="1" />
   <xsd:maxLength value="100" />
  </xsd:restriction>
 </xsd:simpleType>

 <!-- 属性 RprtCd の定義 (Ver 1.00 では RprtCd の使用は禁止) -->
 <xsd:attribute name="RprtCd" type="xsd:nonNegativeInteger" />

 <!-- 属性 RprtVer の定義 -->
 <xsd:attribute name="RprtVer" type="maff:RprtVer_type" />

 <!-- RprtVer_type 型の定義 -->
 <xsd:simpleType name="RprtVer_type">
  <xsd:restriction base="xsd:decimal">
   <xsd:minInclusive value="1.00" />
   <xsd:fractionDigits value="2" />
  </xsd:restriction>
 </xsd:simpleType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <!-- 各スキーマファイルにて定義のこと -->

 <!-- MngmntLctnAreaRequired_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="MngmntLctnAreaRequired_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:AgrcltrlArNm" />
   <xsd:group ref="maff:MngmntLctn_group" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- MngmntLctnAreaOptional_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="MngmntLctnAreaOptional_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:AgrcltrlArNm" minOccurs="0" />
   <xsd:group ref="maff:MngmntLctn_group" />
  </xsd:sequence>
```

```
</xsd:complexType>

<!-- グループ MngmntLctn_group の定義 -->
<xsd:group name="MngmntLctn_group">
 <xsd:sequence>
  <xsd:element ref="maff:AgrcltrlArNmRd" minOccurs="0" />
  <xsd:element ref="maff:MngmntAssctnNm" />
  <xsd:element ref="maff:MngmntAssctnNmRd" minOccurs="0" />
  <xsd:element ref="maff:PrfctrNm" minOccurs="0" />
  <xsd:element ref="maff:PrfctrNmRd" minOccurs="0" />
  <xsd:element ref="maff:MngmntAssctnAdr" minOccurs="0" />
  <xsd:element ref="maff:MngmntAssctnAdrRd" minOccurs="0" />
 </xsd:sequence>
</xsd:group>

<!-- 要素 AgrcltrlArNm の定義（地区マスタがないため文字列） -->
<xsd:element name="AgrcltrlArNm" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 AgrcltrlArNmRd の定義 -->
<xsd:element name="AgrcltrlArNmRd" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 MngmntAssctnNm の定義 -->
<xsd:element name="MngmntAssctnNm" type="maff:MngmntAssctnNm_type" />

<!-- MngmntAssctnNm_type 型の定義 -->
<xsd:complexType name="MngmntAssctnNm_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:MngmntCd" use="required" />
   <xsd:attribute ref="maff:AssctnCd" use="required" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 MngmntCd の定義 -->
<!-- 管理組織マスタの管理レベルコードを指定する -->
<xsd:attribute name="MngmntCd" type="maff:MngmntCd_type" />

<!-- MngmntCd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="MngmntCd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
  <xsd:minInclusive value="0" />
  <xsd:maxInclusive value="9" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 AssctnCd の定義 -->
<!-- 管理組織マスタの組織コードを指定する -->
<xsd:attribute name="AssctnCd" type="maff:AssctnCd_type" />

<!-- AssctnCd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="AssctnCd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
  <xsd:minInclusive value="0" />
  <xsd:maxInclusive value="9999" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 MngmntAssctnNmRd の定義 -->
<xsd:element name="MngmntAssctnNmRd" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 PrfctrNm の定義 -->
```

```
<xsd:element name="PrfctrNm" type="maff:PrfctrNm_type" />

<!-- PrfctrNm_type 型の定義 -->
<xsd:complexType name="PrfctrNm_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:PrfctrNmEnum_type">
   <xsd:attribute ref="maff:PrfctrCd" use="optional" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- PrfctrNmEnum_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="PrfctrNmEnum_type">
 <xsd:restriction base="xsd:token">
  <xsd:whiteSpace value="collapse" />
  <xsd:enumeration value="北海道" />
  <xsd:enumeration value="青森県" />
  <xsd:enumeration value="岩手県" />
  <xsd:enumeration value="宮城県" />
  <xsd:enumeration value="秋田県" />
  <xsd:enumeration value="山形県" />
  <xsd:enumeration value="福島県" />
  <xsd:enumeration value="茨城県" />
  <xsd:enumeration value="栃木県" />
  <xsd:enumeration value="群馬県" />
  <xsd:enumeration value="埼玉県" />
  <xsd:enumeration value="千葉県" />
  <xsd:enumeration value="東京都" />
  <xsd:enumeration value="神奈川県" />
  <xsd:enumeration value="新潟県" />
  <xsd:enumeration value="富山県" />
  <xsd:enumeration value="石川県" />
  <xsd:enumeration value="福井県" />
  <xsd:enumeration value="山梨県" />
  <xsd:enumeration value="長野県" />
  <xsd:enumeration value="岐阜県" />
  <xsd:enumeration value="静岡県" />
  <xsd:enumeration value="愛知県" />
  <xsd:enumeration value="三重県" />
  <xsd:enumeration value="滋賀県" />
  <xsd:enumeration value="京都府" />
  <xsd:enumeration value="大阪府" />
  <xsd:enumeration value="兵庫県" />
  <xsd:enumeration value="奈良県" />
  <xsd:enumeration value="和歌山県" />
  <xsd:enumeration value="鳥取県" />
  <xsd:enumeration value="島根県" />
  <xsd:enumeration value="岡山県" />
  <xsd:enumeration value="広島県" />
  <xsd:enumeration value="山口県" />
  <xsd:enumeration value="徳島県" />
  <xsd:enumeration value="香川県" />
  <xsd:enumeration value="愛媛県" />
  <xsd:enumeration value="高知県" />
  <xsd:enumeration value="福岡県" />
  <xsd:enumeration value="佐賀県" />
  <xsd:enumeration value="長崎県" />
  <xsd:enumeration value="熊本県" />
  <xsd:enumeration value="大分県" />
  <xsd:enumeration value="宮崎県" />
  <xsd:enumeration value="鹿児島県" />
  <xsd:enumeration value="沖縄県" />
```

```
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 PrfctrCd の定義 -->
<!-- 都道府県マスタの都道府県コードを指定する -->
<xsd:attribute name="PrfctrCd" type="maff:PrfctrCd_type" />

<!-- PrfctrCd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="PrfctrCd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:positiveInteger">
  <xsd:minInclusive value="1" />
  <xsd:maxInclusive value="47" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 PrfctrNmRd の定義 -->
<xsd:element name="PrfctrNmRd" type="maff:PrfctrNmRdEnum_type" />

<!-- PrfctrNmRdEnum_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="PrfctrNmRdEnum_type">
 <xsd:restriction base="xsd:token">
  <xsd:whiteSpace value="collapse" />
  <xsd:enumeration value="ホッカイドウ" />
  <xsd:enumeration value="アオモリケン" />
  <xsd:enumeration value="イワテケン" />
  <xsd:enumeration value="ミヤギケン" />
  <xsd:enumeration value="アキタケン" />
  <xsd:enumeration value="ヤマガタケン" />
  <xsd:enumeration value="フクシマケン" />
  <xsd:enumeration value="イバラキケン" />
  <xsd:enumeration value="トチギケン" />
  <xsd:enumeration value="グンマケン" />
  <xsd:enumeration value="サイタマケン" />
  <xsd:enumeration value="チバケン" />
  <xsd:enumeration value="トウキョウト" />
  <xsd:enumeration value="カナワガケン" />
  <xsd:enumeration value="ニイガタケン" />
  <xsd:enumeration value="トヤマケン" />
  <xsd:enumeration value="イシカワケン" />
  <xsd:enumeration value="フクイケン" />
  <xsd:enumeration value="ヤマナシケン" />
  <xsd:enumeration value="ナガノケン" />
  <xsd:enumeration value="ギフケン" />
  <xsd:enumeration value="シズオカケン" />
  <xsd:enumeration value="アイチケン" />
  <xsd:enumeration value="ミエケン" />
  <xsd:enumeration value="シガケン" />
  <xsd:enumeration value="キョウトフ" />
  <xsd:enumeration value="オオサカフ" />
  <xsd:enumeration value="ヒョウゴケン" />
  <xsd:enumeration value="ナラケン" />
  <xsd:enumeration value="ワカヤマケン" />
  <xsd:enumeration value="トットリケン" />
  <xsd:enumeration value="シマネケン" />
  <xsd:enumeration value="オカヤマケン" />
  <xsd:enumeration value="ヒロシマケン" />
  <xsd:enumeration value="ヤマグチケン" />
  <xsd:enumeration value="トクシマケン" />
  <xsd:enumeration value="カガワケン" />
  <xsd:enumeration value="エヒメケン" />
  <xsd:enumeration value="コウチケン" />
  <xsd:enumeration value="フクオカケン" />
```

```
  <xsd:enumeration value="サガケン" />
  <xsd:enumeration value="ナガサキケン" />
  <xsd:enumeration value="クマモトケン" />
  <xsd:enumeration value="オオイタケン" />
  <xsd:enumeration value="ミヤザキケン" />
  <xsd:enumeration value="カゴシマケン" />
  <xsd:enumeration value="オキナワケン" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 MngmntAssctnAdr の定義 -->
<xsd:element name="MngmntAssctnAdr" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 MngmntAssctnAdrRd の定義 -->
<xsd:element name="MngmntAssctnAdrRd" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 RprtMth の定義 -->
<xsd:element name="RprtMth" type="xsd:gYearMonth" />

<!-- 要素 RprtDay の定義 -->
<xsd:element name="RprtDay" type="xsd:date" />

<!-- 要素 RprtTm の定義 -->
<xsd:element name="RprtTm" type="xsd:time" />

<!-- 要素 RprtUpdtDtTm の定義 -->
<xsd:element name="RprtUpdtDtTm" type="xsd:dateTime" />

<!-- 要素 RprtRev の定義 -->
<xsd:element name="RprtRev" type="xsd:positiveInteger" />

<!-- 要素 RprtStartDtTm の定義 -->
<xsd:element name="RprtStartDtTm" type="xsd:dateTime" />

<!-- 要素 RprtEndDtTm の定義 -->
<xsd:element name="RprtEndDtTm" type="xsd:dateTime" />

<!-- 要素 Instn の定義 -->
<!-- 各スキーマファイルにて定義のこと -->

<!-- Instn 型の定義（基本形） -->
<xsd:complexType name="Instn_type">
 <xsd:sequence>
  <xsd:element ref="maff:InstnNm" />
  <xsd:element ref="maff:InstnNmRd" minOccurs="0" />
 </xsd:sequence>
</xsd:complexType>

<!-- 要素 InstnNm の定義 -->
<xsd:element name="InstnNm" type="maff:InstnNm_type" />

<!-- InstnNm 型の定義（Ver 1.00 では InstnCd 属性は禁止） -->
<xsd:complexType name="InstnNm_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:InstnTypCd" use="required" />
   <xsd:attribute ref="maff:IrrgtnOrDrng" use="optional" />
   <xsd:attribute ref="maff:InstnCd" use="prohibited" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
```

```
<!-- 属性 InstnTypCd の定義 -->
<!-- (old)工種区分マスタの工種区分コードを指定する -->
<!-- ■施設タイプの参考区分を指定する　その他、分類不可は0とする■ -->
<xsd:attribute name="InstnTypCd" type="maff:InstnTypCd_type" />

<!-- InstnTypCd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="InstnTypCd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:string">
  <xsd:whiteSpace value="collapse" />
  <xsd:pattern value="[0-9a-fA-F]{1,32}" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 IrrgtnOrDrng の定義 -->
<!-- 用排施設区分マスタの用排施設区分コードを指定する -->
<xsd:attribute name="IrrgtnOrDrng" type="maff:IrrgtnOrDrng_type" />

<!-- IrrgtnOrDrng_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="IrrgtnOrDrng_type">
 <xsd:restriction base="xsd:positiveInteger">
  <xsd:minInclusive value="1" />
  <xsd:maxInclusive value="3" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 InstnCd の定義 -->
<!-- (Ver 1.00 では InstnCd の使用は禁止) -->
<xsd:attribute name="InstnCd" type="xsd:nonNegativeInteger" />

<!-- 要素 InstnNmRd の定義 -->
<xsd:element name="InstnNmRd" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 Lat_JGD の定義 -->
<xsd:element name="Lat_JGD" type="xsd:float" />

<!-- 要素 Lon_JGD の定義 -->
<xsd:element name="Lon_JGD" type="xsd:float" />

<!-- 要素 DtNm の定義 -->
<xsd:element name="DtNm" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 DtUn の定義 -->
<xsd:element name="DtUn" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 属性 ObsrvDay の定義 -->
<xsd:attribute name="ObsrvDay" type="maff:Day_type" />

<!-- Day_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="Day_type">
 <xsd:restriction base="xsd:positiveInteger">
  <xsd:minInclusive value="1" />
  <xsd:maxInclusive value="31" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 ObsrvTm の定義 -->
<xsd:attribute name="ObsrvTm" type="maff:ObsrvTm_type" />

<!-- ObsrvTm 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="ObsrvTm_type">
 <xsd:union memberTypes="maff:Tm_type xsd:time xsd:dateTime" />
</xsd:simpleType>
```

```
<!-- Tm_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="Tm_type">
 <xsd:restriction base="xsd:positiveInteger">
  <xsd:minInclusive value="1" />
  <xsd:maxInclusive value="24" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 ObsrvVal の定義 -->
<!-- 各スキーマファイルにて定義のこと -->

<!-- ObsrvVal_type 型の定義 （基本形）-->
<xsd:complexType name="ObsrvVal_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="xsd:decimal">
   <xsd:attribute ref="maff:ObsrvFlg" use="optional" />
   <xsd:attribute ref="maff:ObsrvKnd" use="optional" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 要素 ObsrvFlg の定義 -->
<xsd:attribute name="ObsrvFlg" type="maff:Flg_type" />

<!-- Flg_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="Flg_type">
 <xsd:restriction base="xsd:string">
  <xsd:whiteSpace value="collapse" />
  <xsd:pattern value="[0-9a-fA-F]{1,8}" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 ObsrvKnd の定義 -->
<xsd:attribute name="ObsrvKnd" type="maff:ObsrvKnd_type" />

<!-- ObsrvKnd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="ObsrvKnd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
  <xsd:minInclusive value="0" />
  <xsd:maxInclusive value="7" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 ClltVal の定義 -->
<!-- 各スキーマファイルにて定義のこと -->

<!-- ClltVal_type 型の定義 （基本形）-->
<xsd:complexType name="ClltVal_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="xsd:decimal">
   <xsd:attribute ref="maff:ClltNm" use="optional" />
   <xsd:attribute ref="maff:ClltTm" use="optional" />
   <xsd:attribute ref="maff:ClltFlg" use="optional" />
   <xsd:attribute ref="maff:ClltKnd" use="optional" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 ClltNm の定義 -->
<xsd:attribute name="ClltNm" type="maff:ClltNm_type" />
```

```
<!-- ClltNm_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="ClltNm_type">
 <xsd:restriction base="xsd:token">
  <xsd:whiteSpace value="collapse" />
  <xsd:enumeration value="合計" />
  <xsd:enumeration value="平均" />
  <xsd:enumeration value="最大" />
  <xsd:enumeration value="最小" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 属性 ClltDay の定義 -->
<xsd:attribute name="ClltDay" type="maff:Day_type" />

<!-- 属性 CllTm の定義 -->
<xsd:attribute name="CllTm" type="maff:Tm_type" />

<!-- 属性 CllFlg の定義 -->
<xsd:attribute name="CllFlg" type="maff:Flg_type" />

<!-- 属性 CllKnd の定義 -->
<xsd:attribute name="CllKnd" type="maff:CllKnd_type" />

<!-- CllKnd_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="CllKnd_type">
 <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
  <xsd:minInclusive value="0" />
  <xsd:maxInclusive value="8" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 CllTmng の定義 -->
<xsd:attribute name="CllTmng" type="maff:CllTmng_type" />

<!-- CllTmng_type 型の定義 -->
<xsd:simpleType name="CllTmng_type">
 <xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger">
  <xsd:minInclusive value="0" />
  <xsd:maxInclusive value="3" />
 </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

<!-- 要素 ItmCntnt の定義 -->
<xsd:element name="ItmCntnt" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 OcrdKnd の定義 -->
<xsd:element name="OcrdKnd" type="maff:OcrdKnd_type" />

<!-- OcrdKnd_type 型の定義 -->
<xsd:complexType name="OcrdKnd_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:OcrdLbl" use="optional" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 OcrdLbl の定義 -->
<xsd:attribute name="OcrdLbl" type="maff:ShortString_type" />

<!-- 要素 CndtnCntnt の定義 -->
<xsd:element name="CndtnCntnt" type="maff:ShortString_type" />
```

```
<!-- 要素 ItmDt1 の定義 -->
<xsd:element name="ItmDt1" type="maff:ItmDt1_type" />

<!-- ItmDt1_type 型の定義 (Ver 1.00 では ItmCd1 属性は禁止) -->
<xsd:complexType name="ItmDt1_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:ItmCd1" use="prohibited" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 ItmCd1 の定義 (Ver 1.00 では ItmCd1 の使用は禁止) -->
<xsd:attribute name="ItmCd1" type="xsd:nonNegativeInteger" />

<!-- 要素 ItmDt2 の定義 -->
<xsd:element name="ItmDt2" type="maff:ItmDt2_type" />

<!-- ItmDt2_type 型の定義 (Ver 1.00 では ItmCd2 属性は禁止) -->
<xsd:complexType name="ItmDt2_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:ItmCd2" use="prohibited" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 ItmCd2 の定義 (Ver 1.00 では ItmCd2 の使用は禁止) -->
<xsd:attribute name="ItmCd2" type="xsd:nonNegativeInteger" />

<!-- 要素 ItmDt3 の定義 -->
<xsd:element name="ItmDt3" type="maff:ItmDt3_type" />

<!-- ItmDt3_type 型の定義 (Ver 1.00 では ItmCd3 属性は禁止) -->
<xsd:complexType name="ItmDt3_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:ItmCd3" use="prohibited" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 ItmCd3 の定義 (Ver 1.00 では ItmCd3 の使用は禁止) -->
<xsd:attribute name="ItmCd3" type="xsd:nonNegativeInteger" />

<!-- 要素 ItmDt4 の定義 -->
<xsd:element name="ItmDt4" type="maff:ItmDt4_type" />

<!-- ItmDt4_type 型の定義 (Ver 1.00 では ItmCd4 属性は禁止) -->
<xsd:complexType name="ItmDt4_type">
 <xsd:simpleContent>
  <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
   <xsd:attribute ref="maff:ItmCd4" use="prohibited" />
  </xsd:extension>
 </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>

<!-- 属性 ItmCd4 の定義 (Ver 1.00 では ItmCd4 の使用は禁止) -->
<xsd:attribute name="ItmCd4" type="xsd:nonNegativeInteger" />

<!-- 要素 CndtnDt の定義 -->
```

```
 <xsd:element name="CndtnDt" type="maff:CndtnDt_type" />

 <!-- CndtnDt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="CndtnDt_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:CndtnNm" />
   <xsd:element ref="maff:CndtnUn" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:CndtnVal" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 CndtnNm の定義 -->
 <xsd:element name="CndtnNm" type="maff:ShortString_type" />

 <!-- 要素 CndtnUn の定義 -->
 <xsd:element name="CndtnUn" type="maff:ShortString_type" />

 <!-- 要素 CndtnVal の定義 -->
 <xsd:element name="CndtnVal" type="maff:CndtnVal_type" />

 <!-- CndtnVal_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="CndtnVal_type">
  <xsd:simpleContent>
   <xsd:extension base="maff:ShortString_type">
    <xsd:attribute ref="maff:CndtnFlg" use="optional" />
    <xsd:attribute ref="maff:CndtnKnd" use="optional" />
   </xsd:extension>
  </xsd:simpleContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 属性 CndtnFlg の定義 -->
 <xsd:attribute name="CndtnFlg" type="maff:Flg_type" />

 <!-- 属性 CndtnKnd の定義 -->
 <xsd:attribute name="CndtnKnd" type="maff:ObsrvKnd_type" />

 <!-- 要素 Memo の定義 -->
 <xsd:element name="Memo" type="maff:Memo_type" />

 <!-- Memo_type 型の定義 -->
 <xsd:simpleType name="Memo_type">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
   <xsd:whiteSpace value="preserve" />
   <xsd:minLength value="1" />
   <xsd:maxLength value="1000" />
  </xsd:restriction>
 </xsd:simpleType>

 <!-- 要素 ExtndCntnts の定義 -->
 <xsd:element name="ExtndCntnts" type="maff:ExtndCntnts_type" />

 <!-- ExtndCntnts_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="ExtndCntnts_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:any namespace="##other" processContents="lax" maxOccurs="50" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.1 システム情報データ

システム情報データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- システム情報データツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 SystemInformation -->
 <xsd:element name="SystemInformation" type="maff:SysInfo_type" />

 <!-- SysInfo_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="SysInfo_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:InstnInfo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:UpdtHstry" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaRequired_type" />

 <!-- 要素 InstnInfo の定義 -->
 <xsd:element name="InstnInfo" type="maff:InstnInfo_type" />

 <!-- InstnInfo 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="InstnInfo_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:Instn" maxOccurs="unbounded" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Instn の定義 -->
 <xsd:element name="Instn" type="maff:InstnLatLon_type" />

 <!-- InstnLatLon_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="InstnLatLon_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:Lat_JGD" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:Lon_JGD" minOccurs="0" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 UpdtHstry の定義 -->
 <xsd:element name="UpdtHstry" type="maff:UpdtHstry_type" />

 <!-- UpdtHstry_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="UpdtHstry_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:Rprt" maxOccurs="unbounded" />
  </xsd:sequence>
```

```
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Rprt の定義 -->
 <xsd:element name="Rprt" type="maff:Rprt_type" />

 <!-- Rprt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="Rprt_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.2 最新データ

最新データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 最新データツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 RealTimeReport -->
 <xsd:element name="RealTimeReport" type="maff:RelTimRep_type" />

 <!-- RelTimRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RelTimRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:Instn" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmDT_type" />

 <!-- RprtDtTmDT_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmDT_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtDay" />
   <xsd:element ref="maff:RprtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtRev" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Instn の定義 -->
 <xsd:element name="Instn" type="maff:InstnRlTm_type" />

 <!-- InstnRlTm_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="InstnRlTm_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:RlTmDt" maxOccurs="unbounded" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 RlTmDt の定義 -->
 <xsd:element name="RlTmDt" type="maff:RlTmDt_type" />

 <!-- RlTmDt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RlTmDt_type">
  <xsd:sequence>
```

```
    <xsd:element ref="maff:DtNm" />
    <xsd:element ref="maff:DtUn" />
    <xsd:element ref="maff:ObsrvVal" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvVal の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvVal" type="maff:ObsrvVal_type" />

</xsd:schema>
```

6.3 定時データ

定時データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 定時データツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 FixedTimeReport -->
 <xsd:element name="FixedTimeReport" type="maff:FixTimRep_type" />

 <!-- FixTimRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="FixTimRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:Instn" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmD_type" />

 <!-- RprtDtTmD_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmD_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtDay" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtRev" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Instn の定義 -->
 <xsd:element name="Instn" type="maff:InstnFxTm_type" />

 <!-- InstnFxTm_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="InstnFxTm_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:ClcltDt" maxOccurs="unbounded" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 ClcltDt の定義 -->
 <xsd:element name="ClcltDt" type="maff:ClcltDt_type" />

 <!-- ClcltDt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="ClcltDt_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:DtNm" />
```

```
    <xsd:element ref="maff:DtUn" />
    <xsd:element ref="maff:ObsrvDt" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvDt の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvDt" type="maff:ObsrvDt_type" />

  <!-- ObsrvDt_type 型の定義 -->
  <xsd:complexType name="ObsrvDt_type">
   <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="maff:ObsrvVal" minOccurs="1" maxOccurs="24" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvVal の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvVal" type="maff:ObsrvValTm_type" />

  <!-- ObsrvValTm_type 型の定義 (ObsrvVal_type 型を拡張) -->
  <xsd:complexType name="ObsrvValTm_type">
   <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="maff:ObsrvVal_type">
     <xsd:attribute ref="maff:ObsrvTm" use="required" />
    </xsd:extension>
   </xsd:simpleContent>
  </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.4 日報データ

日報データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 日報データツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 DailyReport -->
 <xsd:element name="DailyReport" type="maff:DayRep_type" />

 <!-- DayRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="DayRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:Instn" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmD_type" />

 <!-- RprtDtTmD_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmD_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtDay" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtRev" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Instn の定義 -->
 <xsd:element name="Instn" type="maff:InstnDy_type" />

 <!-- InstnDy_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="InstnDy_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:ClcltDt" maxOccurs="unbounded" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 ClcltDt の定義 -->
 <xsd:element name="ClcltDt" type="maff:ClcltDt_type" />

 <!-- ClcltDt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="ClcltDt_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:DtNm" />
```

```
    <xsd:element ref="maff:DtUn" />
    <xsd:element ref="maff:ObsrvDt" />
    <xsd:element ref="maff:CllDt" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvDt の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvDt" type="maff:ObsrvDt_type" />

  <!-- ObsrvDt_type 型の定義 -->
  <xsd:complexType name="ObsrvDt_type">
   <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="maff:ObsrvVal" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvVal の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvVal" type="maff:ObsrvValTm_type" />

  <!-- ObsrvValTm_type 型の定義 (ObsrvVal_type 型を拡張) -->
  <xsd:complexType name="ObsrvValTm_type">
   <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="maff:ObsrvVal_type">
     <xsd:attribute ref="maff:ObsrvTm" use="required" />
    </xsd:extension>
   </xsd:simpleContent>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 CllDt の定義 -->
  <xsd:element name="CllDt" type="maff:CllDt_type" />

  <!-- CllDt_type 型の定義 -->
  <xsd:complexType name="CllDt_type">
   <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="maff:CllVal" minOccurs="1" maxOccurs="4" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 CllVal の定義 -->
  <xsd:element name="CllVal" type="maff:CllValTim_type" />

  <!-- CllValTim_type 型の定義 (CllVal_type 型を拡張) -->
  <xsd:complexType name="CllValTim_type">
   <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="maff:CllVal_type">
     <xsd:attribute ref="maff:CllTmng" />
    </xsd:extension>
   </xsd:simpleContent>
  </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.5 月報データ

月報データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 月報データツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 MonthlyReport -->
 <xsd:element name="MonthlyReport" type="maff:MonRep_type" />

 <!-- MonRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="MonRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:Instn" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmM_type" />

 <!-- RprtDtTmM_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmM_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtMth" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtRev" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 Instn の定義 -->
 <xsd:element name="Instn" type="maff:InstnMth_type" />

 <!-- InstnMth_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="InstnMth_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:ClcltDt" maxOccurs="unbounded" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 ClcltDt の定義 -->
 <xsd:element name="ClcltDt" type="maff:ClcltDt_type" />

 <!-- ClcltDt_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="ClcltDt_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:DtNm" />
```

```
    <xsd:element ref="maff:DtUn" />
    <xsd:element ref="maff:ObsrvDt" />
    <xsd:element ref="maff:CllDt" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvDt の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvDt" type="maff:ObsrvDt_type" />

  <!-- ObsrvDt_type 型の定義 -->
  <xsd:complexType name="ObsrvDt_type">
   <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="maff:ObsrvVal" minOccurs="1" maxOccurs="31" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 ObsrvVal の定義 -->
  <xsd:element name="ObsrvVal" type="maff:ObsrvValDy_type" />

  <!-- ObsrvValDy_type 型の定義 (ObsrvVal_type 型を拡張) -->
  <xsd:complexType name="ObsrvValDy_type">
   <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="maff:ObsrvVal_type">
     <xsd:attribute ref="maff:ObsrvDay" use="required" />
    </xsd:extension>
   </xsd:simpleContent>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 CllDt の定義 -->
  <xsd:element name="CllDt" type="maff:CllDt_type" />

  <!-- CllDt_type 型の定義 -->
  <xsd:complexType name="CllDt_type">
   <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="maff:CllVal" minOccurs="1" maxOccurs="4" />
   </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>

  <!-- 要素 CllVal の定義 -->
  <xsd:element name="CllVal" type="maff:CllValDy_type" />

  <!-- CllValDy_type 型の定義 (CllVal_type 型を拡張) -->
  <xsd:complexType name="CllValDy_type">
   <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="maff:CllVal_type">
     <xsd:attribute ref="maff:CllDay" />
    </xsd:extension>
   </xsd:simpleContent>
  </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.6 運行履歴データ

運行履歴データにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 運行履歴ツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 AnnouncementReport -->
 <xsd:element name="AnnouncementReport" type="maff:AncRep_type" />

 <!-- AncRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="AncRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:WrkDt" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmStEd_type" />

 <!-- RprtDtTmStEd_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmStEd_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtStartDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtEndDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 WrkDt の定義 -->
 <xsd:element name="WrkDt" type="maff:WrkDt_type" />

 <!-- WrkDt_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="WrkDt_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:ItmCntnt" />
     <xsd:element ref="maff:OcrdKnd" />
     <xsd:element ref="maff:CndtnCntnt" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt1" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt2" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt3" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt4" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:CndtnDt" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
     <xsd:element ref="maff:RprtDay" />
     <xsd:element ref="maff:RprtTm" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>

</xsd:schema>
```

6.7 ＳＶデータ

ＳＶデータにおける XML Schema を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- ＳＶデータツリー　スキーマ -->

<xsd:schema
 xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
 targetNamespace="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem">

 <!-- 共通スキーマの取り込み -->
 <xsd:include schemaLocation="common.xsd" />

 <!-- ルート要素 ConditionReport -->
 <xsd:element name="ConditionReport" type="maff:CondRep_type" />

 <!-- CondRep_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="CondRep_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtNm" />
   <xsd:element ref="maff:MngmntLctn" />
   <xsd:element ref="maff:RprtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:SV_CndtnDt" maxOccurs="unbounded" />
   <xsd:element ref="maff:Memo" minOccurs="0" />
   <xsd:element ref="maff:ExtndCntnts" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 MngmntLctn の定義 -->
 <xsd:element name="MngmntLctn" type="maff:MngmntLctnAreaOptional_type" />

 <!-- 要素 RprtDtTm の定義 -->
 <xsd:element name="RprtDtTm" type="maff:RprtDtTmN_type" />

 <!-- RprtDtTmN_type 型の定義 -->
 <xsd:complexType name="RprtDtTmN_type">
  <xsd:sequence>
   <xsd:element ref="maff:RprtDay" />
   <xsd:element ref="maff:RprtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtUpdtDtTm" />
   <xsd:element ref="maff:RprtRev" minOccurs="0" />
  </xsd:sequence>
 </xsd:complexType>

 <!-- 要素 SV_CndtnDt の定義 -->
 <xsd:element name="SV_CndtnDt" type="maff:SV_CndtnDt_type" />

 <!-- SV_Cndtn_type 型の定義（Instn_type 型を拡張） -->
 <xsd:complexType name="SV_CndtnDt_type">
  <xsd:complexContent>
   <xsd:extension base="maff:Instn_type">
    <xsd:sequence>
     <xsd:element ref="maff:ItmCntnt" />
     <xsd:element ref="maff:OcrdKnd" />
     <xsd:element ref="maff:CndtnCntnt" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt1" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt2" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt3" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:ItmDt4" minOccurs="0" />
     <xsd:element ref="maff:CndtnDt" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded" />
    </xsd:sequence>
   </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
 </xsd:complexType>
```

```
</xsd:schema>
```

第７章　XML Instance 例

7.1 システム情報データ

システム情報データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- システム情報データツリー　インスタンス例 -->

<maff:SystemInformation

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  systeminformation.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:myCompany="urn:myCompany:myNameSpace_scada"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">システム情報データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:AgrcltrlArNm>〇〇地区</maff:AgrcltrlArNm>
  <maff:AgrcltrlArNmRd>マルマルチク</maff:AgrcltrlArNmRd>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999">
   〇×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
  <maff:MngmntAssctnNmRd>マルバツトチカイリョウク</maff:MngmntAssctnNmRd>
  <maff:PrfctrNm maff:PrfctrCd="2">青森県</maff:PrfctrNm>
  <maff:MngmntAssctnAdr>青森県〇郡口町△１丁目１番</maff:MngmntAssctnAdr>
  <maff:MngmntAssctnAdrRd>
   アオモリケンマルグンシカクチョウ１チョウメ１バン</maff:MngmntAssctnAdrRd>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:InstnInfo>
  <maff:Instn>
   <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2" maff:IrrgtnOrDrng="1">
    Ａ頭首工</maff:InstnNm>
   <maff:InstnNmRd>エートウシュコウ</maff:InstnNmRd>
   <maff:Lat_JGD>40.425</maff:Lat_JGD>
   <maff:Lon_JGD>140.18</maff:Lon_JGD>
  </maff:Instn>
  <maff:Instn>
   <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="80" maff:IrrgtnOrDrng="1">
    Ｂ分水工</maff:InstnNm>
   <maff:InstnNmRd>ビーブンスイコウ</maff:InstnNmRd>
   <!-- <maff:Lat_JGD>40.75</maff:Lat_JGD> -->
   <!-- <maff:Lon_JGD>140.175</maff:Lon_JGD> -->
  </maff:Instn>
 </maff:InstnInfo>

 <maff:UpdtHstry>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">最新データ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:40:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  </maff:Rprt>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">定時データ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:06:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  </maff:Rprt>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">日報データ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:06:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  </maff:Rprt>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">月報データ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T00:10:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  </maff:Rprt>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">運行履歴データ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:08:27</maff:RprtUpdtDtTm>
```

```
  </maff:Rprt>
  <maff:Rprt>
   <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">ＳＶデータ</maff:RprtNm>
   <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-02T14:40:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  </maff:Rprt>
 </maff:UpdtHstry>

 <maff:ExtndCntnts>
  <myCompany:systemID myCompany:ver="3.1C">X123-Y456-Z789</myCompany:systemID>
 </maff:ExtndCntnts>

</maff:SystemInformation>
```

7.2 最新データ

最新データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 最新データツリー　インスタンス例 -->

<maff:RealTimeReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  realtimereport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">最新データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtDay>2006-12-27</maff:RprtDay>
  <maff:RprtTm>14:39:00</maff:RprtTm>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:40:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  <maff:RprtRev>1</maff:RprtRev>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:RlTmDt>
   <maff:DtNm>堰水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>EL.m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvFlg="0">177.28</maff:ObsrvVal>
  </maff:RlTmDt>
  <maff:RlTmDt>
   <maff:DtNm>ゲート放流量</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>m3/s</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvFlg="0">0.48</maff:ObsrvVal>
  </maff:RlTmDt>
 </maff:Instn>
 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="80">Ｂ分水工</maff:InstnNm>
  <maff:RlTmDt>
   <maff:DtNm>水路水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvFlg="0">1.28</maff:ObsrvVal>
  </maff:RlTmDt>
 </maff:Instn>

</maff:RealTimeReport>
```

7.3 定時データ

定時データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 定時データツリー　インスタンス例 -->

<maff:FixedTimeReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  fixedtimereport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">定時データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtDay>2006-12-25</maff:RprtDay>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-26T00:06:00</maff:RprtUpdtDtTm>
  <maff:RprtRev>1</maff:RprtRev>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ClcltDt>
   <maff:DtNm>堰水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>EL.m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvDt>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">174.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">174.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">174.69</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">174.99</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="10">175.33</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="10">175.67</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="10">176.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="10">176.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="10">176.90</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="50">177.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="50">177.41</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="40">177.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="40">177.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="40">177.28</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">177.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">177.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">176.87</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="50">176.32</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">176.56</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
  </maff:ClcltDt>
  <maff:ClcltDt>
   <maff:DtNm>ゲート放流量</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>m3/s</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvDt>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">0.51</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">0.48</maff:ObsrvVal>
```

```
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">0.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">0.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">0.29</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="0">0.16</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="0">0.44</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">0.55</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">0.64</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="40">0.73</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">0.18</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
  </maff:ClcltDt>
 </maff:Instn>
 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="9">Ｂ分水工</maff:InstnNm>
  <maff:ClcltDt>
   <maff:DtNm>水路水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvDt>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">1.26</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">1.29</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">1.33</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">1.37</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">1.42</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">1.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">1.51</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="0">1.56</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="0">1.54</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="0">1.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="0">1.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="0">1.44</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="0">1.30</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="0">1.17</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="0">1.15</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">1.19</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">1.27</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="0">1.31</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
  </maff:ClcltDt>
 </maff:Instn>

</maff:FixedTimeReport>
```

7.4 日報データ

日報データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 日報データツリー　インスタンス例 -->

<maff:DailyReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  dailyreport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">日報データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtDay>2006-12-25</maff:RprtDay>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-26T10:23:17</maff:RprtUpdtDtTm>
  <maff:RprtRev>2</maff:RprtRev>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ClcltDt>
   <maff:DtNm>堰水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>EL.m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvDt>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">174.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">174.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">174.69</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">174.99</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="10">175.33</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10:48:22" maff:ObsrvFlg="10">175.57</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="10">175.67</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="10">176.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="10">176.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="10">176.90</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="50">177.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="50">177.41</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16:01:59" maff:ObsrvFlg="50">177.41</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="40">177.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="40">177.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="40">177.28</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">177.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">177.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">176.87</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="50">176.32</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">176.56</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
   <maff:ClltDt>
    <maff:ClltVal maff:ClltNm="平均" maff:ClltFlg="0">175.89</maff:ClltVal>
    <maff:ClltVal maff:ClltNm="最大" maff:CllTm="17" maff:CllFlg="40"
     >177.48</maff:CllVal>
    <maff:CllVal maff:CllNm="最小" maff:CllTm="1" maff:CllFlg="0"
     >174.48</maff:CllVal>
```

```
  </maff:ClltDt>
 </maff:ClcltDt>
 <maff:ClcltDt>
  <maff:DtNm>ゲート放流量</maff:DtNm>
  <maff:DtUn>m3/s</maff:DtUn>
  <maff:ObsrvDt>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">0.51</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">0.48</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">0.48</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">0.50</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">0.29</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10:48:22" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16:01:59" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="0">0.16</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="0">0.44</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">0.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">0.64</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="40">0.73</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">0.18</maff:ObsrvVal>
  </maff:ObsrvDt>
  <maff:ClltDt>
   <maff:ClltVal maff:ClltNm="合計" maff:ClltFlg="0">7.77</maff:ClltVal>
   <maff:ClltVal maff:ClltNm="最大" maff:CllTm="23" maff:CllFlg="40"
    >0.73</maff:CllVal>
   <maff:CllVal maff:CllNm="最小" maff:CllTm="11" maff:CllFlg="0"
    >0.00</maff:CllVal>
  </maff:CllDt>
 </maff:ClcltDt>
</maff:Instn>
<maff:Instn>
 <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="9">Ｂ分水工</maff:InstnNm>
 <maff:ClcltDt>
  <maff:DtNm>水路水位</maff:DtNm>
  <maff:DtUn>m</maff:DtUn>
  <maff:ObsrvDt>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="1" maff:ObsrvFlg="0">1.26</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="2" maff:ObsrvFlg="0">1.29</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="3" maff:ObsrvFlg="8">1.33</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="4" maff:ObsrvFlg="0">1.37</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="5" maff:ObsrvFlg="0">1.42</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="6" maff:ObsrvFlg="0">1.47</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="7" maff:ObsrvFlg="0">1.51</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="8" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="9" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10" maff:ObsrvFlg="0">1.56</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="10:48:22" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="11" maff:ObsrvFlg="0">1.54</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="12" maff:ObsrvFlg="0">1.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="13" maff:ObsrvFlg="0">1.49</maff:ObsrvVal>
```

```
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="14" maff:ObsrvFlg="0">1.44</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="15" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16" maff:ObsrvFlg="0">1.30</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="16:01:59" maff:ObsrvFlg="0">1.29</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="17" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="18" maff:ObsrvFlg="0">1.17</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="19" maff:ObsrvFlg="0">1.15</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="20" maff:ObsrvFlg="0">1.19</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="21" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="22" maff:ObsrvFlg="0">1.27</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="23" maff:ObsrvFlg="0">1.31</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvTm="24" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
   <maff:CltDt>
    <maff:CltVal maff:CltNm="平均" maff:CltFlg="0">1.37</maff:CltVal>
    <maff:CltVal maff:CltNm="最大" maff:CltTm="10" maff:CltFlg="0"
     >1.56</maff:CltVal>
    <maff:CltVal maff:CltNm="最小" maff:CltTm="19" maff:CltFlg="0"
     >1.15</maff:CltVal>
   </maff:CltDt>
  </maff:ClcltDt>
 </maff:Instn>

 <maff:Memo>2 版：放流量(20 時～22 時)調整済み。○×所長 &amp;amp; △口氏　了解済み。</maff:Memo>

</maff:DailyReport>
```

7.5 月報データ

月報データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 月報データツリー　インスタンス例 -->

<maff:MonthlyReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  monthlyreport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">月報データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtMth>2006-10</maff:RprtMth>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-11-02T14:50:55</maff:RprtUpdtDtTm>
  <maff:RprtRev>3</maff:RprtRev>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:Instn>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ClcltDt>
   <maff:DtNm>堰水位</maff:DtNm>
   <maff:DtUn>EL.m</maff:DtUn>
   <maff:ObsrvDt>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="1" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="2" maff:ObsrvFlg="0">174.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="3" maff:ObsrvFlg="8">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="4" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="5" maff:ObsrvFlg="0">174.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="6" maff:ObsrvFlg="0">174.50</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="7" maff:ObsrvFlg="0">174.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="8" maff:ObsrvFlg="0">174.69</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="9" maff:ObsrvFlg="0">174.99</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="10" maff:ObsrvFlg="0">175.33</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="11" maff:ObsrvFlg="0">175.67</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="12" maff:ObsrvFlg="0">176.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="13" maff:ObsrvFlg="0">176.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="14" maff:ObsrvFlg="0">176.90</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="15" maff:ObsrvFlg="40">177.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="16" maff:ObsrvFlg="40">177.41</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="17" maff:ObsrvFlg="40">177.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="18" maff:ObsrvFlg="40">177.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="19" maff:ObsrvFlg="40">177.28</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="20" maff:ObsrvFlg="0">177.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="21" maff:ObsrvFlg="0">177.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="22" maff:ObsrvFlg="0">176.87</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="23" maff:ObsrvFlg="0">176.32</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="24" maff:ObsrvFlg="0">176.56</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="25" maff:ObsrvFlg="40">177.48</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="26" maff:ObsrvFlg="40">177.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="27" maff:ObsrvFlg="40">177.28</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="28" maff:ObsrvFlg="0">177.10</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="29" maff:ObsrvFlg="0">177.00</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="30" maff:ObsrvFlg="0">176.87</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="31" maff:ObsrvFlg="0">176.32</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
   <maff:CllDt>
```

```
   <maff:CllVal maff:CllNm="平均" maff:CllFlg="0">176.10</maff:CllVal>
   <maff:CllVal maff:CllNm="最大" maff:CllDay="17" maff:CllTm="16"
    maff:CllFlg="40">177.48</maff:CllVal>
   <maff:CllVal maff:CllNm="最小" maff:CllDay="1" maff:CllTm="4"
    maff:CllFlg="0">174.48</maff:CllVal>
  </maff:CllDt>
 </maff:ClcltDt>
 <maff:ClcltDt>
  <maff:DtNm>ゲート放流量</maff:DtNm>
  <maff:DtUn>m3/s</maff:DtUn>
  <maff:ObsrvDt>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="1" maff:ObsrvFlg="0">0.51</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="2" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="3" maff:ObsrvFlg="8">0.48</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="4" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="5" maff:ObsrvFlg="0">0.48</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="6" maff:ObsrvFlg="0">0.50</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="7" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="8" maff:ObsrvFlg="0">0.29</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="9" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="10" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="11" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="12" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="13" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="14" maff:ObsrvFlg="0">0.01</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="15" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="16" maff:ObsrvFlg="0">0.00</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="17" maff:ObsrvFlg="0">0.16</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="18" maff:ObsrvFlg="0">0.44</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="19" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="20" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="21" maff:ObsrvFlg="0">0.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="22" maff:ObsrvFlg="0">0.64</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="23" maff:ObsrvFlg="40">0.73</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="24" maff:ObsrvFlg="0">0.18</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="25" maff:ObsrvFlg="0">0.16</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="26" maff:ObsrvFlg="0">0.44</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="27" maff:ObsrvFlg="0">0.49</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="28" maff:ObsrvFlg="0">0.52</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="29" maff:ObsrvFlg="0">0.55</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="30" maff:ObsrvFlg="0">0.64</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="31" maff:ObsrvFlg="40">0.73</maff:ObsrvVal>
  </maff:ObsrvDt>
  <maff:CllDt>
   <maff:CllVal maff:CllNm="合計" maff:CllFlg="0">11.44</maff:CllVal>
   <maff:CllVal maff:CllNm="最大" maff:CllDay="23" maff:CllTm="1"
    maff:CllFlg="40">0.73</maff:CllVal>
   <maff:CllVal maff:CllNm="最小" maff:CllDay="11" maff:CllTm="8"
    maff:CllFlg="0">0.00</maff:CllVal>
  </maff:CllDt>
 </maff:ClcltDt>
</maff:Instn>
<maff:Instn>
 <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="9">Ｂ分水工</maff:InstnNm>
 <maff:ClcltDt>
  <maff:DtNm>水路水位</maff:DtNm>
  <maff:DtUn>m</maff:DtUn>
  <maff:ObsrvDt>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="1" maff:ObsrvFlg="0">1.26</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="2" maff:ObsrvFlg="0">1.29</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="3" maff:ObsrvFlg="8">1.33</maff:ObsrvVal>
   <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="4" maff:ObsrvFlg="0">1.37</maff:ObsrvVal>
```

```
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="5" maff:ObsrvFlg="0">1.42</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="6" maff:ObsrvFlg="0">1.47</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="7" maff:ObsrvFlg="0">1.51</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="8" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="9" maff:ObsrvFlg="0">1.55</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="10" maff:ObsrvFlg="0">1.56</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="11" maff:ObsrvFlg="0">1.54</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="12" maff:ObsrvFlg="0">1.52</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="13" maff:ObsrvFlg="0">1.49</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="14" maff:ObsrvFlg="0">1.44</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="15" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="16" maff:ObsrvFlg="0">1.30</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="17" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="18" maff:ObsrvFlg="0">1.17</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="19" maff:ObsrvFlg="0">1.15</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="20" maff:ObsrvFlg="0">1.19</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="21" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="22" maff:ObsrvFlg="0">1.27</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="23" maff:ObsrvFlg="0">1.31</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="24" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="25" maff:ObsrvFlg="0">1.17</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="26" maff:ObsrvFlg="0">1.15</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="27" maff:ObsrvFlg="0">1.19</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="28" maff:ObsrvFlg="0">1.23</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="29" maff:ObsrvFlg="0">1.27</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="30" maff:ObsrvFlg="0">1.31</maff:ObsrvVal>
    <maff:ObsrvVal maff:ObsrvDay="31" maff:ObsrvFlg="0">1.38</maff:ObsrvVal>
   </maff:ObsrvDt>
   <maff:CllDt>
    <maff:CllVal maff:CllNm="平均" maff:CllFlg="0">1.33</maff:CllVal>
    <maff:CllVal maff:CllNm="最大" maff:CllDay="10" maff:CllTm="16"
     maff:CllFlg="0">1.56</maff:CllVal>
    <maff:CllVal maff:CllNm="最小" maff:CllDay="19" maff:CllTm="22"
     maff:CllFlg="0">1.15</maff:CllVal>
   </maff:CllDt>
  </maff:ClcltDt>
 </maff:Instn>

</maff:MonthlyReport>
```

7.6 運行履歴データ

運行履歴データにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- 運行履歴ツリー　インスタンス例 -->

<maff:AnnouncementReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  announcementreport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">運行履歴データ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtStartDtTm>2006-12-01T01:53:15</maff:RprtStartDtTm>
  <maff:RprtEndDtTm>2006-12-01T02:53:15</maff:RprtEndDtTm>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-01T03:03:15</maff:RprtUpdtDtTm>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:WrkDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>ゲート水位異常上昇</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd maff:OcrdLbl="C">発生</maff:OcrdKnd>
  <maff:CndtnCntnt>設定値 1.23 m ゲート水位 1.24 m</maff:CndtnCntnt>

  <maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnNm>ゲート水位</maff:CndtnNm>
   <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
   <maff:CndtnVal maff:CndtnFlg="40">1.24</maff:CndtnVal>
  </maff:CndtnDt>
  <maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnNm>設定値</maff:CndtnNm>
   <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
   <maff:CndtnVal maff:CndtnFlg="0">1.23</maff:CndtnVal>
  </maff:CndtnDt>

  <maff:RprtDay>2006-12-01</maff:RprtDay>
  <maff:RprtTm>01:53:15</maff:RprtTm>

 </maff:WrkDt>

 <maff:WrkDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="80">Ｂ分水工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>専用線回線異常</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd maff:OcrdLbl="C">発生</maff:OcrdKnd>
  <maff:RprtDay>2006-12-01</maff:RprtDay>
  <maff:RprtTm>01:57:22</maff:RprtTm>
 </maff:WrkDt>

 <maff:WrkDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ａ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>ゲート水位異常上昇</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>復帰</maff:OcrdKnd>
  <maff:CndtnCntnt>設定値 1.23 m ゲート水位 1.21 m</maff:CndtnCntnt>

  <maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnNm>ゲート水位</maff:CndtnNm>
   <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
```

```
    <maff:CndtnVal maff:CndtnFlg="0">1.21</maff:CndtnVal>
   </maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnDt>
    <maff:CndtnNm>設定値</maff:CndtnNm>
    <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
    <maff:CndtnVal>1.23</maff:CndtnVal>
   </maff:CndtnDt>
   <maff:RprtDay>2006-12-01</maff:RprtDay>
   <maff:RprtTm>02:04:21</maff:RprtTm>
  </maff:WrkDt>

  <maff:WrkDt>
   <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ｃ頭首工</maff:InstnNm>
   <maff:ItmCntnt>洪水吐ゲート　２号　開度計　パリティ異常</maff:ItmCntnt>
   <maff:OcrdKnd>発生</maff:OcrdKnd>

   <maff:ItmDt1>洪水吐ゲート</maff:ItmDt1>
   <maff:ItmDt2>２号</maff:ItmDt2>
   <maff:ItmDt3>開度計</maff:ItmDt3>
   <maff:ItmDt4>パリティ異常</maff:ItmDt4>

   <maff:CndtnDt>
    <maff:CndtnNm>開度</maff:CndtnNm>
    <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
    <maff:CndtnVal>1.23</maff:CndtnVal>
   </maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnDt>
    <maff:CndtnNm>パリティ</maff:CndtnNm>
    <maff:CndtnVal>0000</maff:CndtnVal>
   </maff:CndtnDt>

   <maff:RprtDay>2006-12-01</maff:RprtDay>
   <maff:RprtTm>02:09:58</maff:RprtTm>
  </maff:WrkDt>

</maff:AnnouncementReport>
```

7.7 ＳＶデータ

ＳＶデータにおける XML Instance 例を次頁に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<!-- ＳＶデータツリー　インスタンス例 -->

<maff:ConditionReport

xsi:schemaLocation="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem
  conditionreport.xsd"
 xmlns:maff="http://www.maff.go.jp/High-level_AgricultureInformation_DeliveringSystem"
 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">

 <maff:RprtNm maff:RprtVer="1.00">ＳＶデータ</maff:RprtNm>

 <maff:MngmntLctn>
  <maff:MngmntAssctnNm maff:MngmntCd="5" maff:AssctnCd="0999"
   >○×土地改良区</maff:MngmntAssctnNm>
 </maff:MngmntLctn>

 <maff:RprtDtTm>
  <maff:RprtDay>2006-12-27</maff:RprtDay>
  <maff:RprtTm>14:40:00</maff:RprtTm>
  <maff:RprtUpdtDtTm>2006-12-27T14:40:30</maff:RprtUpdtDtTm>
 </maff:RprtDtTm>

 <maff:SV_CndtnDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ｄ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>フラッパゲート</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>全閉</maff:OcrdKnd>
  <maff:CndtnCntnt>ゲート開度 0.00 m</maff:CndtnCntnt>
 </maff:SV_CndtnDt>

 <maff:SV_CndtnDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ｄ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>監視カメラ電源</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>ＯＮ</maff:OcrdKnd>
 </maff:SV_CndtnDt>

 <maff:SV_CndtnDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ｄ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>ゲート自動制御</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>ＯＦＦ</maff:OcrdKnd>
  <maff:CndtnDt>
   <maff:CndtnNm>設定値</maff:CndtnNm>
   <maff:CndtnUn>m</maff:CndtnUn>
   <maff:CndtnVal>1.20</maff:CndtnVal>
  </maff:CndtnDt>
 </maff:SV_CndtnDt>

 <maff:SV_CndtnDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="2">Ｄ頭首工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>取水エゲート　機側操作盤　油圧ポンプ</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>運転</maff:OcrdKnd>

  <maff:ItmDt1>取水エゲート</maff:ItmDt1>
  <maff:ItmDt3>機側操作盤</maff:ItmDt3>
  <maff:ItmDt4>油圧ポンプ</maff:ItmDt4>
 </maff:SV_CndtnDt>

 <maff:SV_CndtnDt>
  <maff:InstnNm maff:InstnTypCd="80">Ｅ分水工</maff:InstnNm>
  <maff:ItmCntnt>監視カメラ電源</maff:ItmCntnt>
  <maff:OcrdKnd>ＯＦＦ</maff:OcrdKnd>
 </maff:SV_CndtnDt>

</maff:ConditionReport>
```

農業用水管理情報　標準定義書(案)

(ＸＭＬスキーマ)

(Rev.1.0)

補　足　資　料

目　　次

第１章　総則 の補足
「 1.3 適用範囲 」の補足 …… 1

第３章　データ構造 の補足
「 3.1 システム情報データ 」の補足 …… 2
「 3.2 最新データ 」の補足 …… 4
「 3.3 定時データ 」の補足 …… 6
「 3.4 日報データ 」の補足 …… 8
「 3.5 月報データ 」の補足 …… 10
「 3.6 運行履歴データ 」の補足 …… 12
「 3.7 ＳＶデータ 」の補足 …… 14

添付資料 「農業情報の情報提供　製作指示に対するチェックシート」 …… 16

本書は、「農業用水管理情報 標準定義書 （ＸＭＬ*スキーマ）」に対して、補足説明が必要と思われる項目についてのみ記載する。

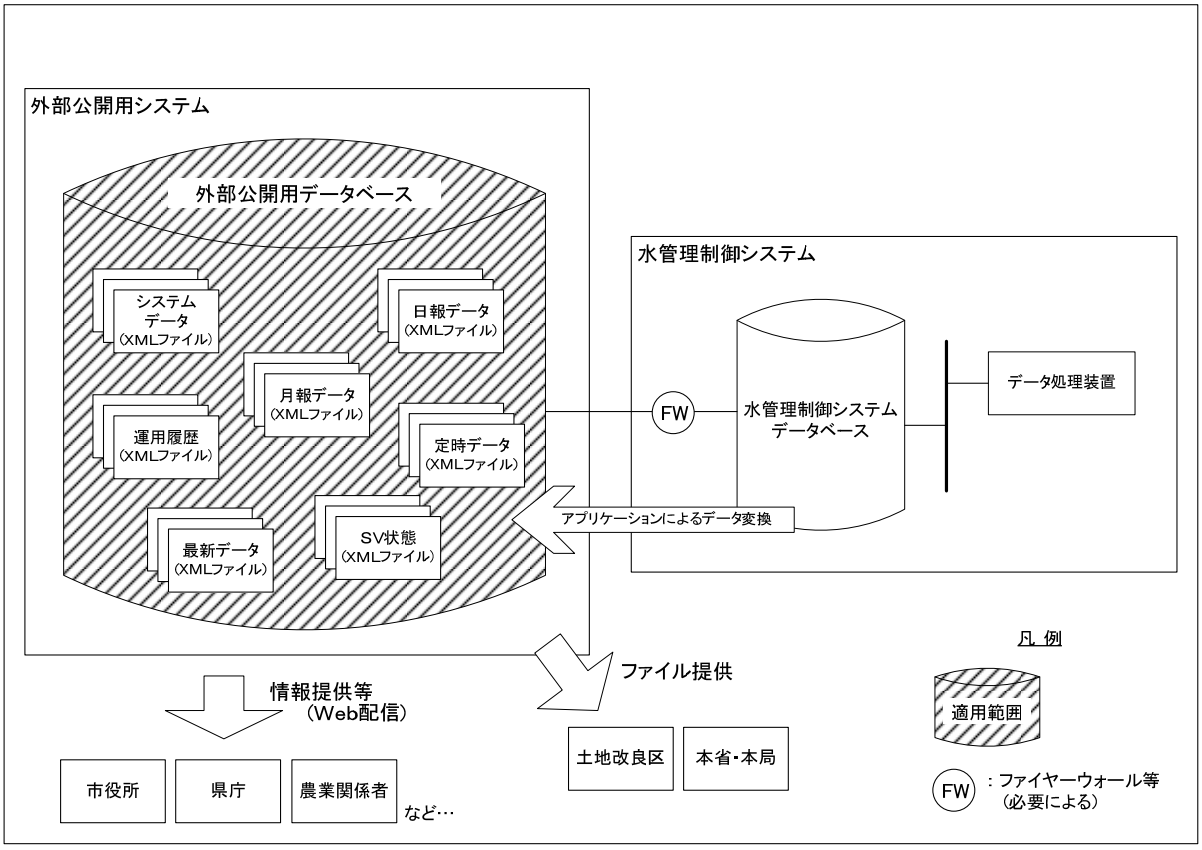
*ＸＭＬ：Extensible Markup Language

第１章　総 則

1.3 適用範囲

本書は、水管理制御システムにおける情報の情報提供として、ＸＭＬデータのデータ構造について共通指針を定義したものである。

農業用水管理情報の情報提供について、データの流れを以下に示す。



［補足］

外部公開用のデータベースは、水管理制御システム(別途または既設)のデータベースを基にしてデータ変換により作成される単独のデータベースとする。

ＦＴＰ*1によりファイルを公開する土地改良区、本省・本局などは、ユーザ名＋パスワードでユーザ認証を行いファイルへのアクセス制限を行う。この際に使用するユーザ名とパスワードは、別途指示する。また、ディレクトリおよびファイルに関して、外部からのアクセスは読み取り専用とし、書き換え・移動・削除は行えないものとする。

県庁、市役所、農業関係者などへの配信やＦＴＰ以外の通信手段（ＳＯＡＰ*2等)によって情報提供する場合は、本システムから直接の情報提供は行わず、別途用意するＷｅｂサーバ等を経由するものとし、外部提供のセキュリティ向上や公開データのフィルタリングを図れるように考慮する。

*1　ＦＴＰ：File Transfer Protocol
*2　ＳＯＡＰ：Simple Object Access Protocol

第３章　データ構造

3.1 システム情報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、管理組織や施設に関する情報等の各ＸＭＬデータの共通事項を記載すること、および各ＸＭＬデータの更新タイミングを記述することを目的とする。

(2) 更新タイミング

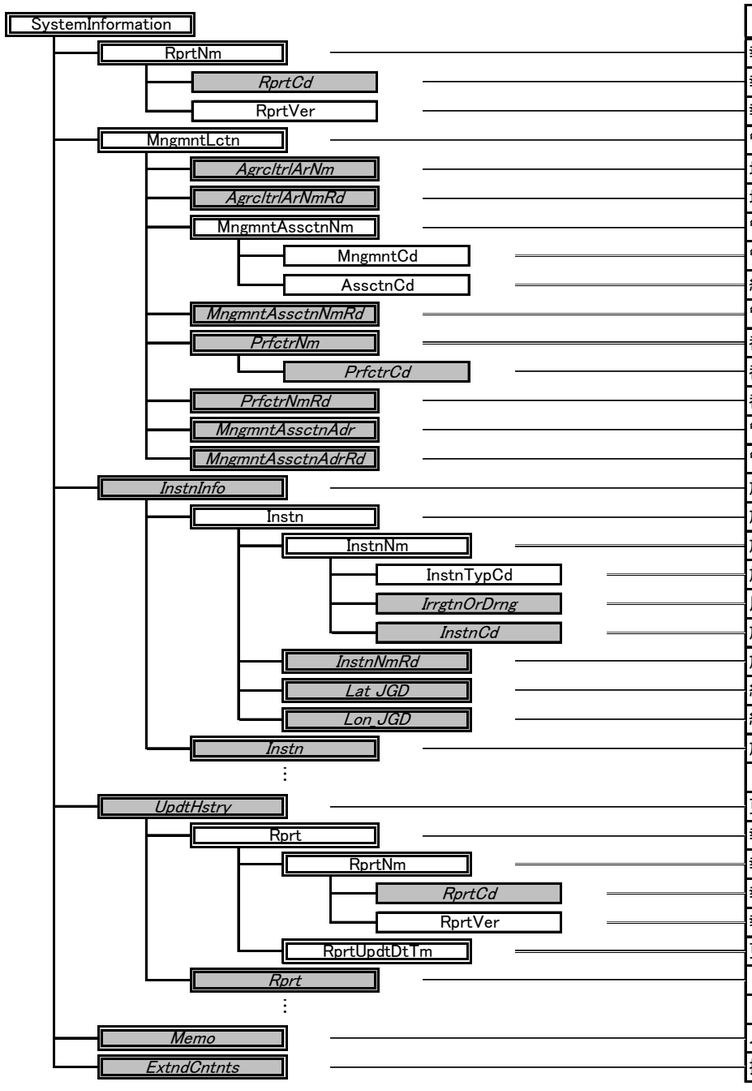
データ更新周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、各ＸＭＬデータで共通的に記述されるデータ(管理組織や施設に関する情報)を詳細に記述することにより、各ＸＭＬデータにおいて共通項目の記述内容を省略し、ＸＭＬデータのスリム化が行える。また、各ＸＭＬデータの更新タイミングを記述することにより、上位局で必要なＸＭＬデータが更新されているかを一括して把握することができる。

更新タイミングについては、例えば、日報データのＸＭＬデータが更新された際に本ＸＭＬデータの<UpdtHstry>タグ内の当該日報データにおける<RprtUpdtDtTm>が更新されるため、そのタイミングで、本ＸＭＬデータを更新する。

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。



日本語名	インスタンス例	備考
報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
報告書コード	01001（など、将来検討）	
報告書コードヴァージョン	1.00	
管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
地区名	○○地区	
地区名読み	マルマルチク	
管理組織名	○×土地改良区	
管理レベルコード	6	
組織コード	111	
管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
都道府県名	東京都	
都道府県コード	13	
都道府県名読み	トウキョウト	
管理組織所在地	東京都○○郡□町△1丁目1番1号	
管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク1チョウメ1バン1ゴウ	
施設情報	詳細仕様に記載した要素を参照。	
施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
用排水区分	1	
施設コード	13001001（など、将来検討）	
施設名読み	エートウシュコウ	
緯度(JGD2000)	35.416667	
経度(JGD2000)	136.75	
施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
更新履歴	詳細仕様に記載した要素を参照。	
報告書	詳細仕様に記載した要素を参照。	
報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
報告書コード	01001（など、将来検討）	
報告書コードヴァージョン	1.00	
更新日時	2006-12-01T23:53:15	
メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC	

凡例）　必須要素　必須属性
選択要素　選択属性

3.2 最新データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、最新の数値情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

１分定周期または１０分定周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき数値情報(水文量データ等)の最新データを記述する。

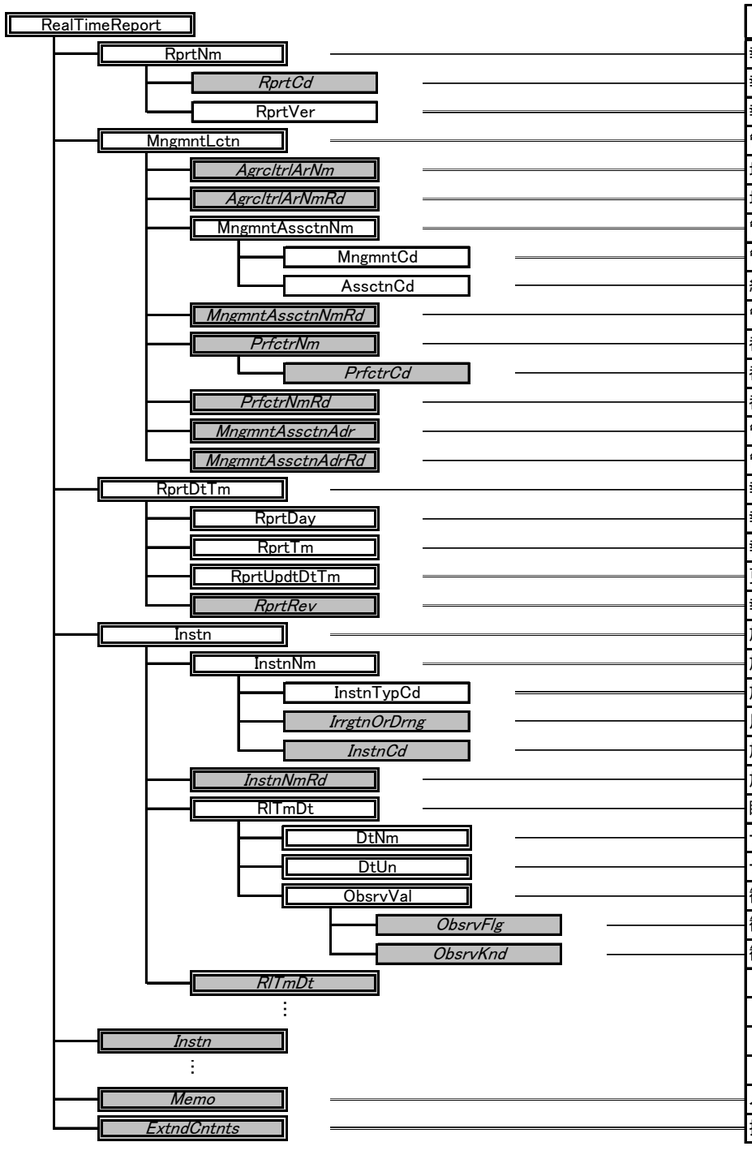
本ＸＭＬデータは時系列データではなく、最新情報を絶えず上書きするものとする。そのため上位局は、本データを参照することで当該施設の最新情報を把握することができる。

具体的には、本データには表示記録用端末装置におけるダム状況図や流域系統図等に表示される最新数値データを配信するためのものである。

更新タイミングについては、１分定周期または１０分定周期のいずれかとし、管理組織(または監督員など)と外部公開用システムの製作メーカ間で充分協議して決定すること。

ただし、いずれの周期についても容易に変更ができるように留意して製作すること。

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。



日本語名	インスタンス例	備考
報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
報告書コード	01001（など、将来検討）	
報告書コードヴァージョン	1.00	
管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
地区名	○○地区	
地区名読み	マルマルチク	
管理組織名	○×土地改良区	
管理レベルコード	6	
組織コード	111	
管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
都道府県名	東京都	
都道府県コード	13	
都道府県名読み	トウキョウト	
管理組織所在地	東京都○○郡□町△1丁目1番1号	
管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク1チョウメ1バン1ゴウ	
報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
報告日	2006-12-01	
報告時刻	23:53:15	
更新日時	2006-12-01T23:53:15	
報告書改訂履歴	2	
施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
用排水区分	1	
施設コード	13001001（など、将来検討）	
施設名読み	エートウシュコウ	
瞬時データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
データ名	(1) 堰水位（上流右岸）(2) 上流水位（No.7分水工）(3) 雨量	
データ単位	EL.m	
観測値	123.45	
観測データフラグ	50	
観測データ種別	1	
メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC	

凡例）　必須要素　必須属性
選択要素　選択属性

3.3 定時データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、テレメータデータ等の定時観測情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき数値情報(水文量データ等)の定周期データを時系列で記述するものとし、定周期間隔はシステム毎に決定するものとする。上位局は、本データを参照することで当該施設の時系列情報を把握することができる。

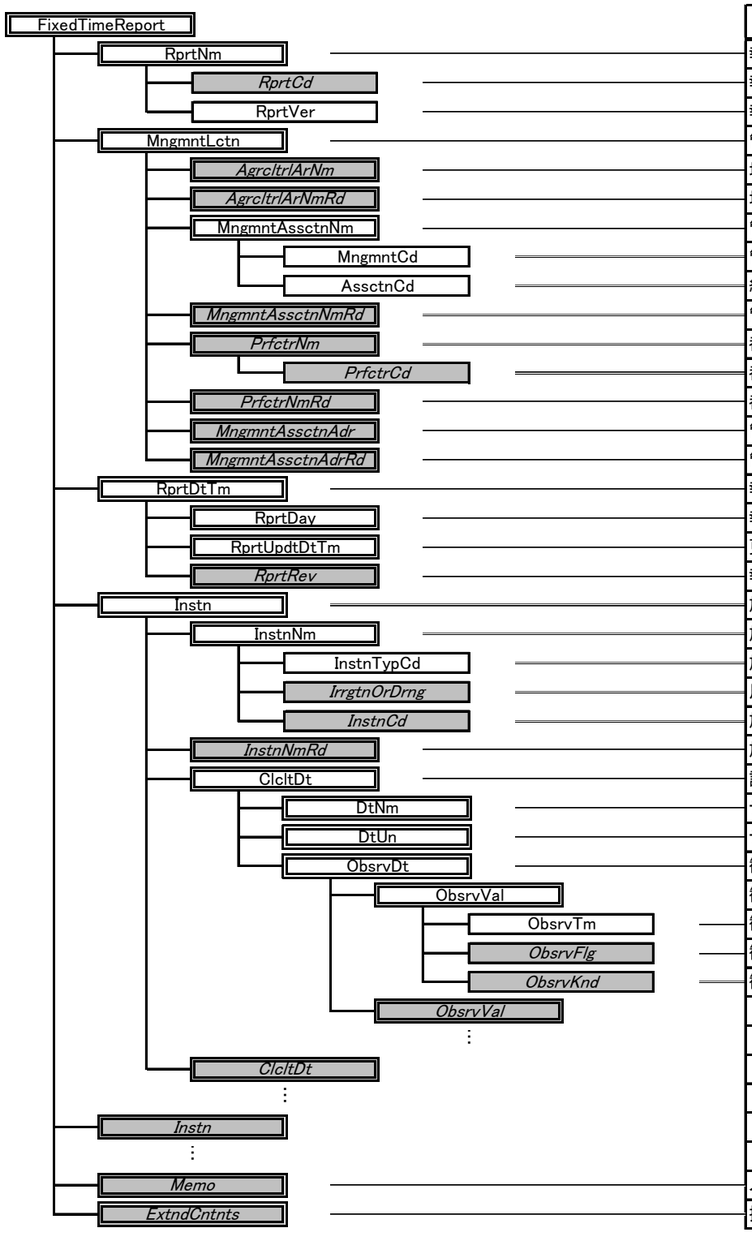
具体的には、テレメータ観測データや頭首工諸量表等の帳票形式で管理されているデータで１０分定周期に帳票データを更新するようなデータに関して、帳票における各データを時系列に並べて配信するためのものである。

本ＸＭＬデータに保存されるデータの更新タイミングがデータ毎に異なる場合(例えば、リアルタイム観測データとテレメータ観測データが混在する場合など)は、更新タイミングとしては、下記の２種類(随時または一括更新)が考えられるが、いずれの方法でデータを作成するかは、管理組織(または監督員など)と外部公開用システムの製作メーカ間で充分協議して決定すること。

・随時更新：最初に更新されたデータに合わせて１回ファイルを作成し、その後、同時刻に保存されるデータが更新された場合には逐次データを更新し、〈RprtUpdtDtTm〉および〈RprtRev〉を随時更新する方法

・一括更新：当該時刻に保存すべきデータが全て揃ったときに一括して更新する方法

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。



日本語名	インスタンス例	備考
報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
報告書コード	01001（など、将来検討）	
報告書コードヴァージョン	1.00	
管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
地区名	○○地区	
地区名読み	マルマルチク	
管理組織名	○×土地改良区	
管理レベルコード	6	
組織コード	111	
管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
都道府県名	東京都	
都道府県コード	13	
都道府県名読み	トウキョウト	
管理組織所在地	東京都○○郡□町△1丁目1番1号	
管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク1チョウメ1バン1ゴウ	
報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
報告日	2006-12-01	
更新日時	2006-12-01T23:53:15	
報告書改訂履歴	2	
施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
用排水区分	1	
施設コード	13001001（など、将来検討）	
施設名読み	エートウシュコウ	
諸量データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
データ名	(1) 堰水位（上流右岸）(2) 上流水位（No.7分水工）(3) 雨量	
データ単位	EL.m	
観測データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
観測値	123.45	
観測時刻	(1) 24（深夜0時の正時データの場合）(2) 23:53:15（ポンプ運転開始時刻の場合）(3) 2006-12-02T00:00:00（ポンプ運転開始時刻が12/	
観測データフラグ	50	
観測データ種別	1	
メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC	

凡例）　必須要素　必須属性
　　選択要素　選択属性

3.4 日報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、ダム管理日報やゲート操作記録等の日報データを配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき日報帳票データ情報(ダム管理日報、ゲート操作記録などの１日単位で管理される帳票データ)を記述する。データが追加、更新される都度ＸＭＬデータを更新するものとし、集計データ(合計値、平均値等)がある場合には集計を行ったタイミングでＸＭＬデータに追記する。上位局は、本データを参照することで当該施設の日報帳票情報を把握することができる。

更新タイミングについては、基本的に本ＸＭＬデータに保存されるデータが追加または更新されたタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。例えば、ダム管理日報データの場合は、正時の諸量データが追加されたタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。

また、本ＸＭＬデータに保存されるデータの更新タイミングがデータ毎に異なる場合(例えば、リアルタイム観測データとテレメータ観測データが混在する場合など)は、更新タイミングとしては、下記の２種類(随時または一括更新)が考えられるが、いずれの方法でデータを作成するかは、管理組織(または監督員など)と外部公開用システムの製作メーカ間で充分協議して決定すること。

・随時更新：最初に更新されたデータに合わせて１回ファイルを作成し、その後、同時刻に保存されるデータが更新された場合には逐次データを更新し、〈RprtUpdtDtTm〉および〈RprtRev〉を随時更新する方法

・一括更新：当該時刻に保存すべきデータが全て揃ったときに一括して更新する方法

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。

構造	日本語名	インスタンス例	備考
DailyReport			
RprtNm	報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
RprtCd	報告書コード	01001（など、将来検討）	
RprtVer	報告書コードヴァージョン	1.00	
MngmntLctn	管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
AgrcltrlArNm	地区名	○○地区	
AgrcltrlArNmRd	地区名読み	マルマルチク	
MngmntAssctnNm	管理組織名	○×土地改良区	
MngmntCd	管理レベルコード	6	
AssctnCd	組織コード	111	
MngmntAssctnNmRd	管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
PrfctrNm	都道府県名	東京都	
PrfctrCd	都道府県コード	13	
PrfctrNmRd	都道府県名読み	トウキョウト	
MngmntAssctnAdr	管理組織所在地	東京都○○郡□町△１丁目１番１号	
MngmntAssctnAdrRd	管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク１チョウメ１バン１ゴウ	
RprtDtTm	報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
RprtDav	報告日	2006-12-01	
RprtUpdtDtTm	更新日時	2006-12-01T23:53:15	
RprtRev	報告書改訂履歴	2	
Instn	施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
InstnNm	施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
InstnTypCd	施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
IrrgtnOrDrng	用排水区分	1	
InstnCd	施設コード	13001001（など、将来検討）	
InstnNmRd	施設名読み	エートウシュコウ	
ClctlDt	諸量データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
DtNm	データ名	(1) 堰水位（上流右岸）(2) 上流水位（No.7分水工）(3) 雨量	
DtUn	データ単位	EL.m	
ObsrvDt	観測データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
ObsrvVal	観測値	123.45	
ObsrvTm	観測時刻	(1) 24（深夜0時の正時データの場合）(2) 23:53:15（ポンプ運転開始時刻の場合）(3) 2006-12-02T00:00:00（ポンプ運転開始時刻が12/	
ObsrvFlg	観測データフラグ	50	
ObsrvKnd	観測データ種別	1	
ObsrvVal			
⋮			
ClltDt	集計データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
ClltVal	集計値	123.45	
ClltNm	集計データ名	最大	
ClltTm	集計データ時刻	5	
ClltFlg	集計データフラグ	50	
ClltKnd	集計データ種別	1	
ClltTmng	集計タイミング	1	
ClltVal			
⋮			
ClctlDt			
⋮			
Instn			
⋮			
Memo	メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
ExtndCntnts	拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC	

凡例）　必須要素　必須属性

選択要素　*選択属性*

3.5 月報データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、ダム管理月報等の月報データを配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき月報帳票データ情報(ダム管理月報など)を記述する。データが追加、更新される都度、ＸＭＬデータを更新するものとし、集計データ(合計値、平均値等)がある場合には集計を行ったタイミングでＸＭＬデータに追記する。上位局は、本データを参照することで当該施設の月報帳票情報を把握することができる。

更新タイミングについては、基本的に日替りの集計データが作成されたタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。例えば、０時集計を行っているシステムにおいては、日替り時刻の０時にデータ集計処理が終了したタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。

ただし、水管理制御システム(別途)によって月報データを月替りで纏めて作成している場合には、管理組織(または監督員など)と外部公開用システムの製作メーカ間で充分協議して更新タイミングを決定すること。

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。

構造	日本語名	インスタンス例	備考
MonthlyReport			
RprtNm	報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
RprtCd	報告書コード	01001（など、将来検討）	
RprtVer	報告書コードヴァージョン	1.00	
MngmntLctn	管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
AgrcltrlArNm	地区名	○○地区	
AgrcltrlArNmRd	地区名読み	マルマルチク	
MngmntAssctnNm	管理組織名	○×土地改良区	
MngmntCd	管理レベルコード	6	
AssctnCd	組織コード	111	
MngmntAssctnNmRd	管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
PrfctrNm	都道府県名	東京都	
PrfctrCd	都道府県コード	13	
PrfctrNmRd	都道府県名読み	トウキョウト	
MngmntAssctnAdr	管理組織所在地	東京都○○郡□町△１丁目１番１号	
MngmntAssctnAdrRd	管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク１チョウメ１バン１ゴウ	
RprtDtTm	報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
RprtMth	報告年月	2006-12	
RprtUpdtDtTm	更新日時	2006-12-01T23:53:15	
RprtRev	報告書改訂履歴	2	
Instn	施設	詳細仕様に記載した要素を参照。	
InstnNm	施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
InstnTypCd	施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
IrrgtnOrDrng	用排水区分	1	
InstnCd	施設コード	13001001（など、将来検討）	
InstnNmRd	施設名読み	エートウシュコウ	
ClcltDt	諸量データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
DtNm	データ名	(1) 堰水位（上流右岸）(2) 上流水位（No.7分水工）(3) 雨量	
DtUn	データ単位	EL.m	
ObsrvDt	観測データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
ObsrvVal	観測値	123.45	
ObsrvDay	観測日	1	
ObsrvFlg	観測データフラグ	50	
ObsrvKnd	観測データ種別	1	
ObsrvVal			
⋮			
ClltDt	集計データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
ClltVal	集計値	123.45	
ClltNm	集計データ名	最大	
ClltDay	集計データ日	6	
ClltTm	集計データ時刻	5	
ClltFlg	集計データフラグ	50	
ClltKnd	集計データ種別	1	
ClltVal			
⋮			
ClcltDt			
⋮			
Instn			
⋮			
Memo	メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
ExtndCntnts	拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>123-ABC	

凡例）　必須要素　必須属性

選択要素　*選択属性*

3.6 運行履歴データ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、異常・故障情報や状態情報の運行履歴を配信することを目的とする。

ＸＭＬデータは１日または１ヶ月単位で作成するものとするが、１ファイル当たりの最大項目数(1,000 項目)を超えた場合には、ファイルを分割して作成する。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき運用履歴(異常故障発生／復帰記録、状態変化記録など)を記述する。データが追加、更新される都度、ＸＭＬデータを更新するものとする。

上位局は、本データを参照することで当該施設の運用履歴情報を把握することができる。

更新タイミングについては、基本的に本ＸＭＬデータに保存されるデータが追加または更新されたタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。例えば、故障等が発生し警報記録が作成されたタイミングで本ＸＭＬデータを更新する。

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。

	日本語名	インスタンス例	備考
AnnouncementReport			
RprtNm	報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
RprtCd	報告書コード	01001（など、将来検討）	
RprtVer	報告書コードヴァージョン	1.00	
MngmntLctn	管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
AgrcltrlArNm	地区名	○○地区	
AgrcltrlArNmRd	地区名読み	マルマルチク	
MngmntAssctnNm	管理組織名	○×土地改良区	
MngmntCd	管理レベルコード	6	
AssctnCd	組織コード	111	
MngmntAssctnNmRd	管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
PrfctrNm	都道府県名	東京都	
PrfctrCd	都道府県コード	13	
PrfctrNmRd	都道府県名読み	トウキョウト	
MngmntAssctnAdr	管理組織所在地	東京都○○郡□町△１丁目１番１号	
MngmntAssctnAdrRd	管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク１チョウメ１バン１ゴウ	
RprtDtTm	報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
RprtStartDtTm	報告書最古日時	2006-12-01T23:53:15	
RprtEndDtTm	報告書最新日時	2006-12-01T23:53:15	
RprtUpdtDtTm	更新日時	2006-12-01T23:53:15	
WrkDt	運用履歴データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
InstnNm	施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
InstnTypCd	施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
IrrgtnOrDrng	用排水区分	1	
InstnCd	施設コード	13001001（など、将来検討）	
InstnNmRd	施設名読み	エートウシュコウ	
ItmCntnt	SV・運用履歴項目内容	(1) 取水ロゲート機側操作盤　油圧ポンプ異常(2) 左岸貯水位　上限オーバ(3) 洪水吐ゲート　2号　開度計　パリティ異常	
OcrdKnd	事象（発生・復帰等）	(1) 発生(2) 復帰	
OcrdLvl	発生事象レベル	A	
CndtnCntnt	状態データ内容	(1) （なし）(2) 設定値　1.23 m　貯水位　1.24 m(3) 開度　1.23 m　パリティ　0000	
ItmDt1	SV・運用履歴項目１（装置名等）	(1) 取水ロゲート(2) 貯水位計(3) 洪水吐ゲート	
ItmCd1	SV・運用履歴項目１（装置名等）コード	01（など、将来検討）	
ItmDt2	SV・運用履歴項目２（号機等）	(1) （なし）(2) 左岸(3) ２号	
ItmCd2	SV・運用履歴項目２（号機等）コード	01（など、将来検討）	
ItmDt3	SV・運用履歴項目３（明細項目等）	(1) 機側操作盤(2) （なし）(3) 開度計	
ItmCd3	SV・運用履歴項目３（明細項目等）コード	01（など、将来検討）	
ItmDt4	SV・運用履歴項目４（詳細項目等）	(1) 油圧ポンプ異常(2) 上限オーバ(3) パリティ異常	
ItmCd4	SV・運用履歴項目４（詳細項目等）コード	01（など、将来検討）	
CndtnDt	状態データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
CndtnNm	状態データ名	(1) 開度(2) 設定値(3) パリティ	
CndtnUn	状態データ単位	(1) m(2) EL.m(3) （なし）	
CndtnVal	状態データ値	(1) 1.23(2) 123.45(3) 0000	
CndtnFlg	状態データフラグ	50	
CndtnKnd	状態データ種別	0	
CndtnDt			
⋮			
RprtDay	報告日	2006-12-01	
RprtTm	報告時刻	23:53:15	
WrkDt			
⋮			
Memo	メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
ExtndCntnts	拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>鳥川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>	

凡例）　必須要素　必須属性
選択要素　*選択属性*

3.7 ＳＶデータ

(1) 概要

本ＸＭＬデータは、現在発生している異常・故障情報や状態情報を配信することを目的とする。

(2) 更新タイミング

データ更新周期とする。

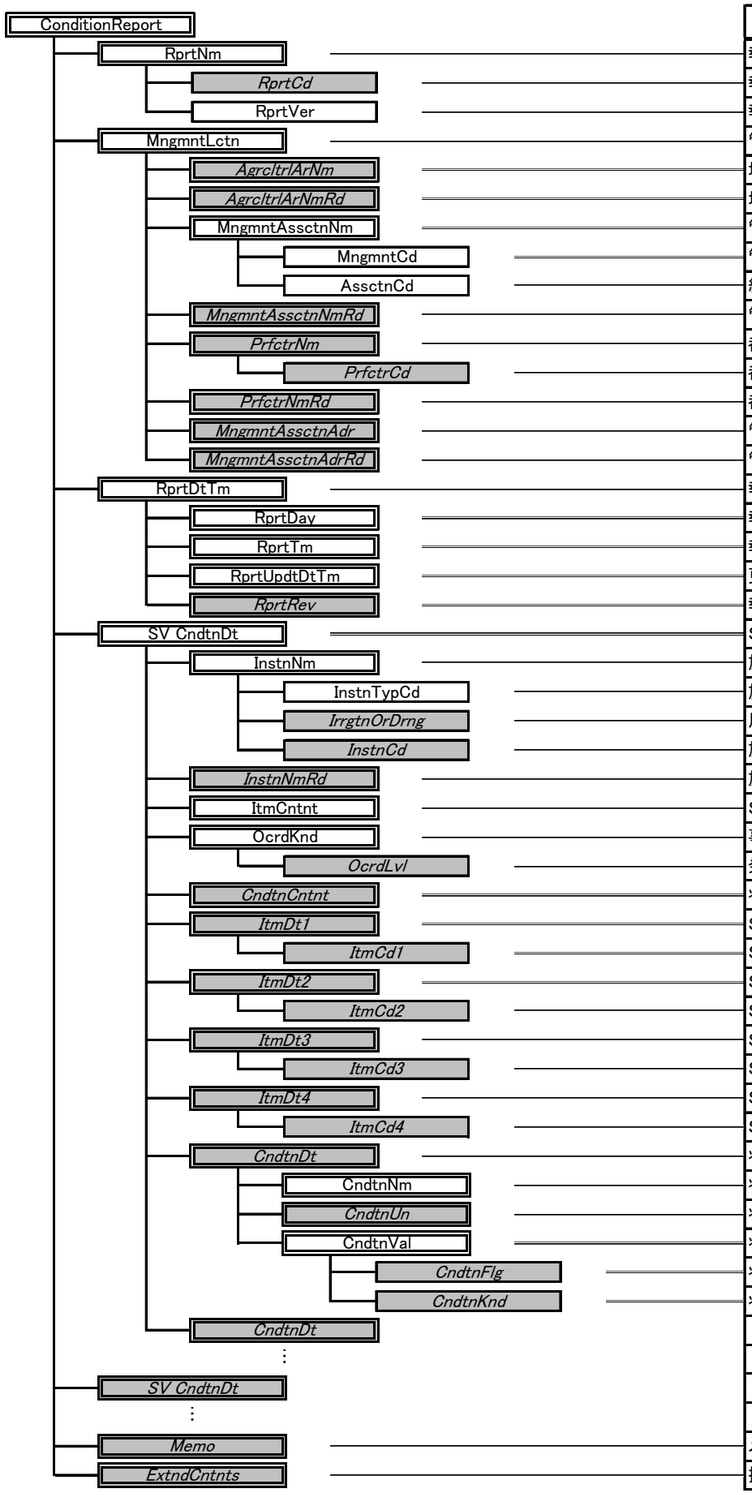
［補足］

本ＸＭＬデータには、公開すべき現在の運用状態(異常故障発生状態、施設起動状態など)を記述する。データが追加、更新される都度、ＸＭＬデータを更新するものとする。本ＸＭＬデータは時系列データではなく、最新情報を絶えず上書きするものとする。そのため上位局は、本データを参照することで当該施設の最新状態を把握することができる。

具体的には、本データには水管理制御システムで取り扱う各施設状態(ポンプの稼働状況、故障中の機器など)の情報を配信するためのものである。

更新タイミングについては、例えば、本ＸＭＬデータで外部に公開されるポンプの稼働状況が変化(運転／停止)した場合や装置・センサの異常故障状態が変化(発生／復帰)したときに本ＸＭＬデータを更新する。ただし、公開対象となっていない施設や装置の状態が変化して場合には、本ＸＭＬデータを更新しないように注意する必要がある。

次頁にツリー図に対する「タグの日本語名」および「インスタンス例」を示す。



日本語名	インスタンス例	備考
報告書名	(1) システム情報データ(2) 瞬時データ(3) 定時データ(4) 日報データ(5) 月報データ(6) 運用履歴データ(7) SV状態データ	
報告書コード	01001（など、将来検討）	
報告書コードヴァージョン	1.00	
管理場所	詳細仕様に記載した要素を参照。	
地区名	○○地区	
地区名読み	マルマルチク	
管理組織名	○×土地改良区	
管理レベルコード	6	
組織コード	111	
管理組織名読み	マルマルトチカイリョウク	
都道府県名	東京都	
都道府県コード	13	
都道府県名読み	トウキョウト	
管理組織所在地	東京都○○郡□町△１丁目１番１号	
管理組織所在地読み	トウキョウトマルマルグンシカクチョウサンカク１チョウメ１バン１ゴウ	
報告日時	詳細仕様に記載した要素を参照。	
報告日	2006-12-01	
報告時刻	23:53:15	
更新日時	2006-12-01T23:53:15	
報告書改訂履歴	2	
SV状態データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
施設名	(1) A頭首工(2) B水位・雨量観測局	
施設タイプコード	(1) 1（ダムの場合）(2) 1800（水位・雨量観測局の場合）	
用排水区分	1	
施設コード	13001001（など、将来検討）	
施設名読み	エートウシュコウ	
SV・運用履歴項目内容	(1) 取水ロゲート機側操作盤　油圧ポンプ異常(2) 左岸貯水位　上限オーバ(3) 洪水吐ゲート　２号　開度計　パリティ異常	
事象（発生・復帰等）	(1) 発生(2) 復帰	
発生事象レベル	A	
状態データ内容	(1) （なし）(2) 設定値　1.23 m　貯水位　1.24 m(3) 開度　1.23 m　パリティ　0000	
SV・運用履歴項目１（装置名等）	(1) 取水ロゲート(2) 貯水位計(3) 洪水吐ゲート	
SV・運用履歴項目１（装置名等）コード	01（など、将来検討）	
SV・運用履歴項目２（号機等）	(1) （なし）(2) 左岸(3) ２号	
SV・運用履歴項目２（号機等）コード	01（など、将来検討）	
SV・運用履歴項目３（明細項目等）	(1) 機側操作盤(2) （なし）(3) 開度計	
SV・運用履歴項目３（明細項目等）コード	01（など、将来検討）	
SV・運用履歴項目４（詳細項目等）	(1) 油圧ポンプ異常(2) 上限オーバ(3) パリティ異常	
SV・運用履歴項目４（詳細項目等）コード	01（など、将来検討）	
状態データ	詳細仕様に記載した要素を参照。	
状態データ名	(1) 開度(2) 設定値(3) パリティ	
状態データ単位	(1) m(2) EL.m(3) （なし）	
状態データ値	(1) 1.23(2) 123.45(3) 0000	
状態データフラグ	50	
状態データ種別	0	
メモ	2版：放流量(20時～22時)調整済み。○×所長 & △□氏　了解済。	
拡張コンテンツ	<maff:ExtndCntnts> <rxs:River rxs:riverCode="47"> <rxs:Name>烏川</rxs:Name> </rxs:River> <myCompany:chohyoCode>	

凡例）　必須要素　必須属性
　　選択要素　選択属性

添付資料

農業情報の情報提供　製作メーカに対する指示事項等チェックシート

（1／2）

No.		検討項目	検討内容	変更可否	チェック
1		XMLのヴァージョン	標準定義書による	変更不可	
2		エンコード形式	標準定義書による	変更不可	
3		名前空間プレフィックス	標準定義書による	変更不可	
4		名前空間URI	標準定義書による	変更不可	
5		システム情報データ	標準定義書による	変更不可	
	(1)	更新周期	標準定義書による	変更不可	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
6		最新データ	外部公開すべきデータがある場合に使用	選択可能	
	(1)	更新周期	1分周期／10周期のいずれかを指示	択一指示	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
	(5)	配信データ内容	外部公開するデータ項目（水位・流量等）およびデータ種別（瞬時・平均等）を決定の上、メーカに指示	選択指示	
7		定時データ	保存すべきデータがある場合に使用	選択可能	
	(1)	更新周期	随時更新／一括更新のいずれかを指示 ただし、当該観測時刻データ揃った段階で必ず更新	択一指示	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
	(5)	保存データ内容	監視制御システムで作成している定周期保存データのうち、いずれのデータを保存するのかを決定の上、メーカに指示	選択指示	
8		日報データ	保存すべきデータがある場合に使用	選択可能	
	(1)	更新周期	随時更新／一括更新のいずれかを指示 ただし、当該観測時刻データ揃った段階で必ず更新	択一指示	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
	(5)	保存データ内容	監視制御システムで作成している日報データ（ダム管理日報・操作記録・ポンプ運転記録　等）のうち、いずれのデータを保存するのかを決定の上、メーカに指示	選択指示	
9		月報データ	保存すべきデータがある場合に使用	選択可能	
	(1)	更新周期	日替わり集計タイミングで更新 ただし、月替わりでしか月報作成をしていないシステムの場合は、発注者および管理組織の判断で変更	選択可能	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
	(5)	保存データ内容	監視制御システムで作成している日報データ（ダム管理月報・漏水量月報　等）のうち、いずれのデータを保存するのかを決定の上、メーカに指示	選択指示	
10		運行記録データ	外部公開すべきデータがある場合に使用	選択可能	
	(1)	更新周期	保存すべき運行記録が作成された段階で更新	変更不可	
	(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
	(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
	(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
	(5)	保存データ内容	システムで作成している運行記録のうち、いずれの項目を外部公開データにするのか指示	選択指示	

No.	検討項目	検討内容	変更可否	チェック
11	SVデータ	外部公開すべきデータがある場合に使用	選択可能	
(1)	更新周期	外部公開すべきデータに変化があった段階で更新	変更不可	
(2)	必須項目	標準定義書による	変更不可	
(3)	選択項目	発注者および管理組織の判断で保存項目を選択	選択可能	
(4)	項目追加	名前空間プレフィックス／URIを変更することで可能	選択可能	
(5)	保存データ内容	システムで監視しているSV情報のうち、いずれの項目を外部公開データにするのか指示	選択指示	
12	タグ内容	（本タグを使用する場合の決定事項を記載）		
	全般	内容（インスタンス）が空白のタグの利用は不可	変更不可	
	RprtCd	現在は使用しないため不要	変更不可	
	RprtVer	1.00を指示	変更不可	
	AgrcltrlArNm	地区名の正式名称を指示	指示	
	AgrcltrlArNmRd	地区名の読みを指示	指示	
	MngmntAssctnNm	ストックDB(*1)管理組織マスタに記載されている管理組織名称を指示	指示	
	MngmntCd	ストックDB(*1)管理組織マスタに記載されている当該管理組織の管理レベルコードを指示	指示	
	AssctnCd	ストックDB(*1)管理組織マスタに記載されている当該管理組織の組織コードを指示	指示	
	MngmntAssctnNmRd	管理組織名の読みを指示	指示	
	PrfctrNm	ストックDB(*1)管理組織マスタに記載されている当該管理組織の所在地に従った県名を指示	指示	
	PrfctrCd	ストックDB(*1)都道府県マスタに記載されている県コードを指示	指示	
	PrfctrNmRd	県名の読みを指示	指示	
	MngmntAssctnAdr	ストックDB(*1)管理組織マスタに記載されている当該管理組織の所在地を指示	指示	
	MngmntAssctnAdrRd	所在地の読みを指示	指示	
	InstnTypCd	当該施設のタイプを標準定義書より選択し指示	指示	
	InstnCd	現在は使用しないため不要	変更不可	
	InstnNm	当該施設の正式名称を指示、ただし標準定義書に記載されている表現法を遵守	指示	
	InstnNmRd	当該施設の正式名称の読みを指示	指示	
	IrrgtnOrDrng	当該施設に合わせた用排水区分をストックDB(*1)用排水区分コードから指示、いずれにも該当しない場合には本タグを使用しないように指示	指示	
	Lat_JGD	当該施設のJGD2000に従った経度を指示、分からない場合には本タグを使用しないように指示	指示	
	Lon_JGD	当該施設のJGD2000に従った経度を指示、分からない場合には本タグを使用しないように指示	指示	
13	ストックDB(*1)の取り扱い	ストックDBより各データを引用する場合に、記載されていない、内容が異なると言った場合には自己判断で追加修正をメーカに指示しないこと。本省・本局に確認を行い、必要に応じて記載事項の追加・変更を行うこと。	変更不可	

＊1　正式名称は「農業水利ストック情報データベースシステム　マスター覧」

【変更可否の項目に対する凡例】

変更不可：製作メーカは標準定義書の内容で製作するものとする。

選択可能：発注者側が項目の必要性を選択し、必要と認めた項目については、その項目の内容(データ種別など)を製作メーカに対して指示するものとする。

指示　　：発注者側が製作メーカに対して必ず指示すべき項目とする。